

【FdText：中学社会歴史：江戸時代】

[幕藩体制／貿易の振興から鎖国へ／産業・都市の発達／綱吉の政治・元禄文化／
享保の改革～寛政の改革／新しい学問と化政文化／外国船の出現と天保の改革／
開国・江戸幕府の滅亡／FdText 製品版のご案内／<http://www.fdtype.com/txt/>]

【】幕藩体制

[要点：江戸幕府の成立]

豊臣秀吉とよとみひでよしの死後、徳川家康とくがわいえやすは 1600 年の関ヶ原せきがはらの戦いいしだみつなりで石田三成いしだみつなりを中心とする豊臣方を破り、実権をにぎった。1603 年には征夷大將軍せいいたいしょうぐんに任じられ、江戸幕府ひとむれおおを開いた。(人群多(1600)い関ヶ原／人群れ満(1603)ちる江戸幕府)これ以降 260 年余り続いた時代を江戸時代という。



徳川家康は、1614、1615 年の二度にわたる大阪の陣おおさか じんで豊臣氏おおさか じんをほろぼした。

※出題頻度「関ヶ原の戦い◎」「石田三成○」「徳川家康○」「征夷大將軍○」「江戸幕府△」「江戸時代△」「大阪の陣○」「豊臣氏△」

[問題]

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

豊臣秀吉の死後、(①)(人物名)は 1600 年の(②)の戦いで(③)(人物名)を中心とする豊臣方を破り、実権をにぎった。1603 年には(④)に任じられ、(⑤)幕府を開いた。これ以降 260 年余り続いた時代を(⑤)時代という。(①)は、1614、1615 年の二度にわたる(⑥)の陣で豊臣氏をほろぼした。

[解答欄]

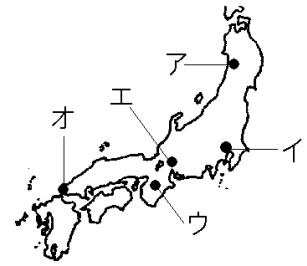
①	②	③	④
⑤	⑥		

[解答]① 徳川家康 ② 関ヶ原 ③ 石田三成 ④ 征夷大將軍 ⑤ 江戸 ⑥ 大阪

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 1600年の天下分け目の戦いを何というか。
- (2) (1)の戦いで、西軍(豊臣方)の中心人物は誰か。
- (3) (1)の戦いで、東軍の中心人物は誰か。
- (4) (1)の戦いが行われた場所を右図のア～オから選べ。また、現在の都道府県名を答えよ。
- (5) (3)の人物は1603年、朝廷より何に任じられて幕府を開いたか。
- (6) (3)の人物はどこに幕府を開いたか。その場所を図のア～オから選べ。また、当時の地名を答えよ。
- (7) ①(6)の幕府を何というか。②これ以降260年余り続いた時代を何時代というか。
- (8) (3)の人物は1614, 1615年の2度にわたる(①)の陣で(②)氏をほろぼした。
①, ②に適語を入れよ。

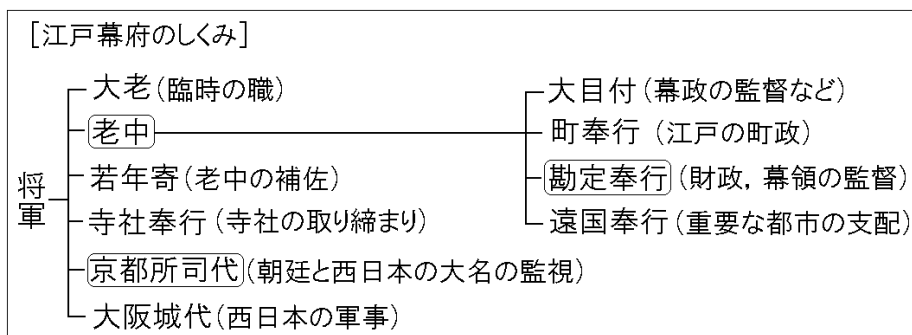


[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)①	②
(8)①	②		

[解答](1) 関ヶ原の戦い (2) 石田三成 (3) 徳川家康 (4) エ, 岐阜県 (5) 征夷大將軍
(6) イ, 江戸 (7)① 江戸幕府 ② 江戸時代 (8)① 大阪 ② 豊臣

[要点：江戸幕府のしくみ]

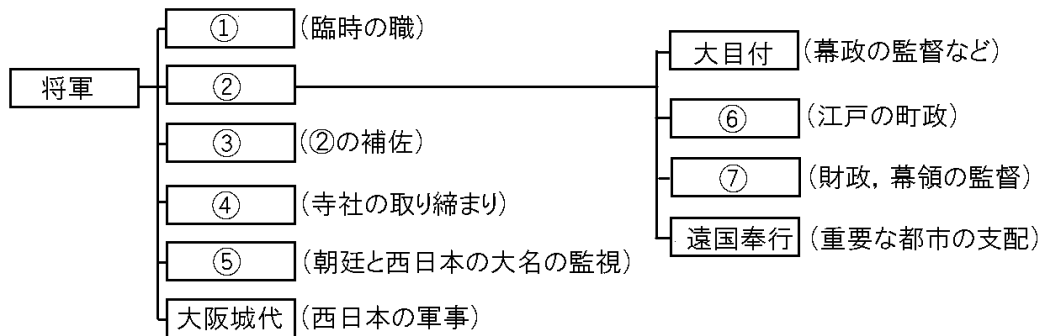


将軍のもとにあって幕政を統括したのは複数人からなる老中ろうじゅうで、重要事項はその合議どうかつで決められた。

※出題頻度「大老△」「老中◎」「若年寄△」「勘定奉行○」「町奉行△」「寺社奉行△」「京都所司代○」

[問題]

次の江戸幕府のしくみの図の①～⑦の役職名を答えよ。



[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

[解答]① 大老 ② 老中 ③ 若年寄 ④ 寺社奉行 ⑤ 京都所司代 ⑥ 町奉行
⑦ 勘定奉行

[要点：幕藩体制の確立・大名の分類と配置]

幕府が藩を通じて全国の土地と人々を支配する体制を**幕藩体制**という。幕府の**直轄領**である**幕領**は約 **400 万石**で、直属の家臣である**旗本**(将軍に直接会うことができる)や**御家人**(将軍に直接会うことができない)の領地を合わせると、全国の石高約 **3000 万石**の約 **4分の1**近くにおよび、幕府は他の大名とはけた違いの**経済力**をもっていた。

大名とは **1 万石以上**の領地を与えられた武士で、大名の支配する領地とその支配のしくみを**藩**といった。江戸幕府は大名を、将軍家の**親戚**である**親藩**(尾張、紀伊、水戸は**御三家**)、**関ヶ原の戦い**より前から徳川氏の家来だった**譜代大名**、**関ヶ原の戦い**以後に徳川氏の家来になった**外様大名**の3つに分けた。大名の領地がえを行って、関東、中部、近畿などの**重要な所**には**親藩**や**譜代大名**を配置し、**有力な外様大名**は九州、四国、東北など江戸から遠いところに配置し、**親藩**や**譜代大名**をその間に配置して外様大名を監視させた。

※出題頻度「幕藩体制○」「幕領△」「4分の1△」「旗本・御家人△」「1万石以上○」「藩△」「親藩○」「御三家△」「譜代大名○」「外様大名○」「江戸から遠いところに配置◎」

【問題】

次の文章中の①～⑩に適語を入れよ(または、適語を選べ)。

幕府が藩を通じて全国の土地と人々を支配する体制を(①)体制という。幕府の直轄領である(②)は約 400 万石で、直属の家臣である(③)(将軍に直接会うことができる)や御家人(将軍に直接会うことができない)の領地を合わせると、全国の石高約 3000 万石の約(④)分の 1 近くにおよび、幕府は他の大名とはけた違いの経済力をもっていた。

大名とは(⑤)石以上の領地を与えられた武士で、大名の支配する領地とその支配のしくみを(⑥)といった。幕府は大名を、将軍家の親戚である(⑦)(尾張、紀伊、水戸は御三家)、関ヶ原の戦いより前から徳川氏の家来だった(⑧)大名、関ヶ原の戦い以後に徳川氏の家来になった(⑨)大名の 3 つに分けた。大名の領地がえを行って、関東、中部、近畿などの重要な所には(⑦)や(⑧)大名を配置し、有力な(⑨)大名は江戸から⑩(近い／遠い)ところに配置し、(⑦)や(⑧)大名をその間に配置して(⑨)大名を監視させた。

【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩		

【解答】① 幕藩 ② 幕領 ③ 旗本 ④ 4 ⑤ 1 万 ⑥ 藩 ⑦ 親藩 ⑧ 譜代 ⑨ 外様
⑩ 遠い

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 幕府の直轄地を何というか。
- (2) 1 万石未満の将軍直属の武士で、将軍に直接会うことができた者を(①)といい、会うことができなかった者を(②)という。
- (3) 1 万石以上の武士を何というか。
- (4) (3)が支配する領地とその仕組みを何というか。
- (5) 幕府が(4)を通じて全国の土地と人々を支配する体制を何というか。
- (6) (3)の中で徳川家の一族を何というか。
- (7) (6)の中でも、尾張、紀伊、水戸を特に何と呼んだか。
- (8) (3)の中で、関ヶ原の戦いより前から徳川家の家臣であったものを何というか。
- (9) (3)の中で、関ヶ原の戦い以降に徳川家に従ったものを何というか。
- (10)(9)はどのようなところに配置されたか。「江戸」という語句を使って説明せよ。

[解答欄]

(1)	(2)①	②	(3)
(4)	(5)	(6)	(7)
(8)	(9)		
(10)			

[解答](1) 幕領 (2)① 旗本 ② 御家人 (3) 大名 (4) 藩 (5) 幕藩体制 (6) 親藩
(7) 御三家 (8) 譜代大名 (9) 外様大名 (10) 江戸から遠いところに配置された。

[要点：武家諸法度・参勤交代]

幕府は、武家諸法度という法律を定め、大名が許可なく城を修理したり、大名どうしが幕府の許可なしに婚姻を結ぶことを禁止した。最初の武家諸法度は、第2代将軍徳川秀忠ひでただのとき、1615年に、将軍職を退いていた徳川家康が定めた。以後、将軍がかわるたびごとに出された。大名の参勤さんきん(江戸に来ること)には、将軍と大名の主従関係を確認するためという目的があったが、第3代将軍徳川家光いえみつは、参勤交代を制度として定め、大名は江戸に妻子を人質として置き、1年おきに領地と江戸を往復することを義務づけた。往復の費用や江戸での生活のために多くの出費をしいられた。その結果、各藩の財政は非常に苦しくなり、大名の経済力が弱められた。幕府は、京都所司代を置いて朝廷を監視し、禁中並公家諸法度という法律で天皇や公家の行動を制限し、政治上の力を持たせなかった。

※出題頻度「武家諸法度◎」「城の修理△」「婚姻△」「参勤交代◎」「徳川家光○」
「往復の費用や江戸での生活のために多くの出費をしいられた○」「京都所司代○」
「禁中並公家諸法度△」

[問題]

次の文章中の①～⑧に適語を入れよ。

幕府は、(①)法度という法律を定め、大名が許可なく(②)を修理したり、大名どうしが幕府の許可なしに(③)を結ぶことを禁止した。最初の(①)法度は、第2代将軍徳川秀忠のとき、1615年に、将軍職を退いていた徳川家康が定めた。以後、将軍がかわるたびごとに出された。

大名の(④)(江戸に来ること)には、将軍と大名の主従関係を確認するためという目的があったが、第3代将軍(⑤)は、(④)交代を制度として定め、大名は江戸に妻子を人質として置き、1年おきに領地と江戸を往復することを義務づけた。往復の費用や(⑥)での生活のために多くの出費をしいられた。その結果、各藩の財政は非常に苦しくなり、大名の経済力が弱められた。幕府は、京都(⑦)を置いて朝廷を監視し、(⑧)法度という法律で天皇や公家の行動を制限し、政治上の力を持たせなかった。

【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

【解答】① 武家諸 ② 城 ③ 婚姻 ④ 参勤 ⑤ 徳川家光 ⑥ 江戸 ⑦ 所司代
⑧ 禁中並公家諸

【問題】

次の各問いに答えよ。

(1) 次は何という法令か。

- 一 大名は一年ごとに四月中に江戸へ参勤せよ。
- 一 新しく城の工事をすることは、固く禁止する。
- 一 大名たちが新しいことをくわだてたり、徒党を組んだりすることを禁止する。

(2) 大名は妻子を江戸におき、1年ごとに江戸と領国に住むことが定められた。これを何というか。

(3) (2)を定めた将軍は誰か。

(4) (2)の制度により大名の経済力が弱まったが、その理由を「往復」「江戸での生活」という語句を使って簡潔に書け。

(5) 天皇や公家の行動を制限するために幕府が定めた法律を何というか。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)
(4)		
(5)		

【解答】(1) 武家諸法度 (2) 参勤交代 (3) 徳川家光 (4) 往復の費用や江戸での生活のために多くの出費をしいられたから。 (5) 禁中並公家諸法度

[要点：村と百姓]

百姓のうち、土地を持つ者を 本百姓 といい、土地を持たず小作を行う者を 水のみ百姓 といった。有力な本百姓は庄屋(名主)・組頭・百姓代などの 村役人 になった。百姓や町人の下に、えた身分・ひにん身分 を設けた。

武士の生活は百姓が納める年貢でささえられていた。幕府や藩は、四公六民(収穫高の4割が年貢で、6割が百姓の手元に残る)や 五公五民 という重い年貢を取り立て、財政をまかした。百姓から 安定して年貢を取るために、1649年に慶安の御触書を出して、「朝には早起して草を刈り、昼は田畑の耕作をし、・・・」「酒や茶を買って飲んではならない」など百姓の生活のあらゆる面にわたって細かく規制した。また、五人組 の制度をつくり、五戸前後を一組として 年貢の納入や犯罪の防止などについて百姓に連帯責任を負わせた。

村のしきたりや寄合で定められたおきてを破る者には、葬式など以外には協力しないという 村八分 というばつがあたえられた。

※出題頻度「本百姓○」「水のみ百姓○」「村役人△」「えた身分・ひにん身分△」「五人組◎」「年貢納入と犯罪防止○」「安定して年貢を取るため○」「村八分△」

[問題]

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ。

百姓のうち、土地を持つ者を(①)といい、土地を持たず小作を行う者を(②)といった。有力な(①)は庄屋(名主)・組頭・百姓代などの村役人になった。百姓や町人の下に、えた身分・(③)身分を設けた。

武士の生活は百姓が納める年貢でささえられていた。幕府や藩は、四公六民(収穫高の4割が年貢で、6割が百姓の手元に残る)や五公五民という重い年貢を取り立て、財政をまかした。百姓から安定して(④)を取るために、1649年に慶安の御触書を出して、「朝には早起して草を刈り、昼は田畑の耕作をし、・・・」「酒や茶を買って飲んではならない」など百姓の生活のあらゆる面にわたって細かく規制した。また、(⑤)の制度をつくり、五戸前後を一組として(④)の納入や(⑥)の防止などについて百姓に連帯責任を負わせた。村のしきたりや寄合で定められたおきてを破る者には、葬式など以外には協力しないという(⑦)というばつがあたえられた。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

[解答]① 本百姓 ② 水のみ百姓 ③ ひにん ④ 年貢 ⑤ 五人組 ⑥ 犯罪 ⑦ 村八分

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 村の政治をあずかった、庄屋などの有力者を何というか。
- (2) 百姓のうちで土地をもつ者を何というか。
- (3) 百姓のうちで土地をもたない者を何というか。
- (4) 年貢納入や犯罪防止などについて、農民に連帯責任を負わせた制度を何というか。
- (5) 1649年に慶安の御触書を出して、百姓の生活のあらゆる面にわたって細かく規制したが、このような御触書を百姓に示したのはなぜか。「年貢」の語句を使って答えよ。
- (6) 百姓が納める年貢の割合には、五公五民、四公六民といわれるものがあるが、百姓にとっては、どちらがきびしいか。

[解答欄]

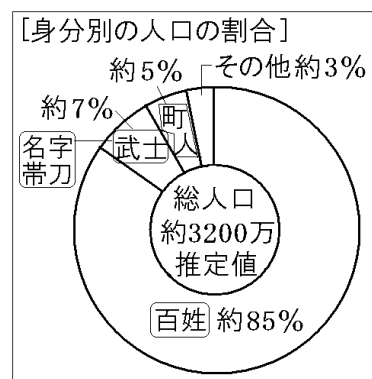
(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)		

[解答](1) 村役人 (2) 本百姓 (3) 水のみ百姓 (4) 五人組 (5) 安定して年貢を取るため。
(6) 五公五民

[要点：身分別の人口の割合]

江戸時代の人口の内訳は、百姓が85%、武士が7%、町人が5%であった。支配身分の武士は、名字・帯刀などの特権をもっていたが、武士道というきびしい道徳を課された。商人や職人は合わせて町人と呼ばれた。百姓や町人の下に、えた身分・ひにん身分を設けた。

※出題頻度「百姓○」「町人○」「武士○」「名字・帯刀○」
「えた身分・ひにん身分△」



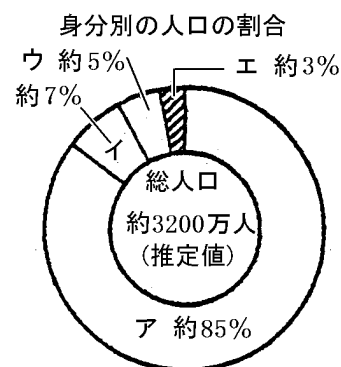
[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) グラフのア～エのうち武士はどれか、記号で答えよ。
- (2) グラフのア～エのうち百姓はどれか、記号で答えよ。
- (3) グラフのア～エのうち町人はどれか、記号で答えよ。
- (4) 武士にだけ許された特権を次から1つ選べ。

[帯刀 お茶 結婚 寺社詣で]

- (5) 農工商の下に置かれた身分は何か。2つ答えよ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) イ (2) ア (3) ウ (4) 帯刀 (5) えた身分, ひにん身分

【】 貿易の振興から鎖国へ

[要点：朱印船貿易と日本町]

徳川家康は、最初、大名や大商人に海外渡航を許可する朱印状をあたえて貿易をすすめた。これを朱印船貿易という。西国の大名や京都、堺、長崎などの商人は、朱印船を派遣して貿易を行った。その結果、東南アジア各地に日本人が進出し、日本町がつけられた。タイのアユタヤで町の指導者となった山田長政が有名である。また、家康は、あらたに来航したオランダやイギリスからの貿易の願いも許した。オランダ、イギリス両国は、平戸(長崎県)に商館を設け、貿易が始まった。輸入品は、中国産の生糸や絹織物が中心であった。輸出品としては、銀が中心で、刀や工芸品もあった。

※出題頻度「徳川家康△」「朱印状○」「朱印船貿易○」「日本町○」「山田長政△」「平戸△」「輸入：生糸や絹織物△」「輸出：銀△」

[問題]

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ。

徳川家康は、最初、大名や大商人に海外渡航を許可する(①)をあたえて貿易をすすめた。これを(②)貿易という。西国の大名や京都、堺、長崎などの商人は、(②)を派遣して貿易を行った。その結果、東南アジア各地に日本人が進出し、(③)町がつけられた。タイのアユタヤで町の指導者となった(④)が有名である。また、家康は、あらたに来航したオランダやイギリスからの貿易の願いも許した。オランダ、イギリス両国は、(⑤)(長崎県)に商館を設け、貿易が始まった。輸入品は、中国産の(⑥)や絹織物が中心であった。輸出品としては、(⑦)が中心で、刀や工芸品もあった。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

[解答]① 朱印状 ② 朱印船 ③ 日本 ④ 山田長政 ⑤ 平戸 ⑥ 生糸 ⑦ 銀

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 鎖国前は、秀吉の奨励した貿易のしかたを引き継いでいた。この貿易を何というか。
- (2) (1)の貿易を始めた将軍は誰か。
- (3) (1)の貿易で、幕府が出した海外渡航の許可証を何というか。
- (4) (1)の貿易で日本が輸入した中国産の品物を2つあげよ。②また、日本が輸出したものとしては何があるか、刀や工芸品以外で1つあげよ。
- (5) 東南アジアの各地に日本商人が進出し日本人の町がつけられたが、何という町か。
- (6) 新しく来航したオランダやイギリスは現在の長崎県のどこに商館を設けたか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)①
②	(5)	(6)	

[解答](1) 朱印船貿易 (2) 徳川家康 (3) 朱印状 (4)① 生糸, 絹織物 ② 銀 (5) 日本町 (6) 平戸

[要点：禁教と貿易統制の強化]

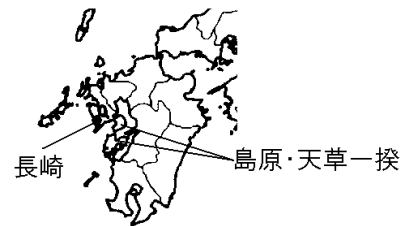
徳川家康は、最初キリスト教を黙認^{もくにん}していたが、それは貿易によって**ばく大な利益を得ることができた**ためであった。しかし、この間に全国にキリスト教の信者^{しんじや}が増加していったため、家康は1612年、幕領にキリスト教禁止令^{きんきょうれい}(禁教令)を出した。また、1616年にはヨーロッパ船の来航を長崎^{ながさき}と平戸^{ひらど}に限定して貿易を独占した。第3代将軍徳川家光^{いえみつ}は、1624年、スペイン船の来航を禁止した。さらに、1635年、日本人の海外渡航を全面的に禁止して朱印船貿易を停止するとともに、海外に住む日本人の帰国もいっさい禁止した。長崎の町中に住んでいたポルトガル人を出島に移し、日本人と交流できないようにした。

幕府は、キリスト教徒を発見^{えふみ}するために絵踏^{えふみ}を行い、役人の前でキリストや聖母^{せいぼ}マリアの像などを踏ませてキリスト教徒でないことを証明させた。絵踏で使われたキリストや聖母マリアの像を刻んだ銅板などを踏絵^{ふみえ}という。



(絵踏のようす)

1637年、島原^{しまばら}(長崎県)・天草^{あまくさ}(熊本県)地方のキリスト教徒^{きりすと}約3万7千人が、無理な年貢^{ねんぐ}の取り立てとキリスト教徒(キリシタン)へのきびしい取りしまりに反対して島原・天草一揆^{あまくさいつぎ}を起こした(指導者は天草四郎^{あまくさしろう}という少年)。幕府は12万の大軍を送ってようやく一揆をしずめた。(人むざん^{にんむざん}なり(1637)島原・天草一揆) 島原・天草一揆の後、幕府は、キリスト教徒の発見のための絵踏^{えふみ}を強化した。また、人々をいずれかの仏教寺院^{だんか}の檀家^{だんか}として所属させ、宗門改^{しゅうもんあらため}によって仏教徒であることを寺院に証明させた。



※出題頻度「キリスト教禁止令(禁教令)△」「スペイン船の来航禁止△」「絵踏◎」「踏絵△」「キリスト教徒を発見するため○」「島原・天草一揆◎」「天草四郎○」「宗門改○」

[問題]

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ。

徳川家康は、最初キリスト教を黙認していたが、それは貿易によってばく大な利益を得ることができたためであった。しかし、この間に全国にキリスト教の信者が増加していったため、家康は1612年、幕領にキリスト教禁止令(禁教令)を出した。また、1616年にはヨーロッパ船の来航を長崎と(①)に限定して貿易を独占した。第3代将軍徳川家光は、1624年、(②)船の来航を禁止した。さらに、1635年、日本人の海外渡航を全面的に禁止して朱印船貿易を停止するとともに、海外に住む日本人の帰国もいっさい禁止した。長崎の町中に住んでいたポルトガル人を出島に移し、日本人と交流できないようにした。

幕府は、キリスト教徒を発見するために(③)を行い、役人の前でキリストや聖母マリアの像などを踏ませてキリスト教徒でないことを証明させた。絵踏で使われたキリストや聖母マリアの像を刻んだ銅板などを(④)という。

1637年、島原(長崎県)・天草(熊本県)地方のキリスト教徒約3万7千人が、無理な年貢の取り立てとキリスト教徒(キリシタン)へのきびしい取りしまりに反対して(⑤)一揆を起こした(指導者は(⑥)という少年)。幕府は12万の大軍を送ってようやく一揆をしずめた。(⑤)一揆の後、幕府は、キリスト教徒の発見のための(③)を強化した。また、人々をいずれかの仏教寺院の檀家として所属させ、(⑦)改によって仏教徒であることを寺院に証明させた。

[解答欄]

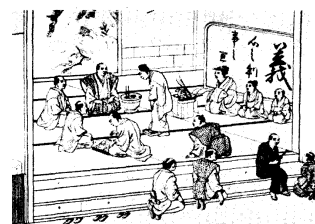
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

[解答]① 平戸 ② スペイン ③ 絵踏 ④ 踏絵 ⑤ 島原・天草 ⑥ 天草四郎 ⑦ 宗門

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 幕府は、当初、キリスト教を黙認していた。その理由を経済的な面から説明せよ。
- (2) 徳川家康は1612年、キリスト教を禁止する命令を出した。何という命令か。
- (3) 右図は何を行っているようすか。漢字2文字で答えよ。
- (4) (3)を行った目的は何か。簡潔に説明せよ。
- (5) 1637年、キリスト教徒を中心に原城跡に立てこもり、幕府にはむかう一揆がおきたが、これを何というか。
- (6) (5)の一揆の指導者の少年の名前を答えよ。
- (7) 幕府は、人々をいずれかの仏教寺院の檀家として所属させ、仏教徒であることを寺院に証明させた。この制度を何というか。



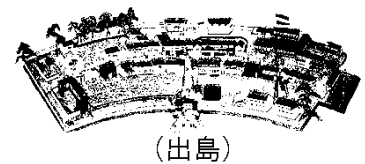
[解答欄]

(1)				(2)
(3)	(4)			
(5)	(6)			(7)

[解答](1) 貿易によってばく大な利益を得ることができたため。(2) キリスト教禁止令(禁教令) (3) 絵踏 (4) キリスト教徒を発見するため。(5) 島原・天草一揆 (6) 天草四郎 (7) 宗門改

[要点：鎖国]

すでに 1624 年にスペイン船の来航^{らいこう}を禁止していたが、島原・天草一揆^{しまばら あまくさいつき}後の 1639 年、第 3 代将軍徳川家光^{いえみつ}はポルトガル人の来航を禁止した。当時日本と貿易を行っていたオランダは、キリスト教のプロテスタント



の国で、布教は行わず、貿易のみを行っていたので、引き続き貿易を認めることとし、1941 年にオランダ商館を平戸^{ひらど}から長崎^{ながさき}の出島^{でじま}に移した。また、清^{しん}(17 世紀の初め中国では明が滅んで清が建国した)の商人も長崎でのみ貿易を認められた。中国人は長崎の中にある唐人屋敷^{とうじんやしき}に住まわせられ、奉行の監督下に置かれた。

幕府は、ヨーロッパやアジアの情勢を文書にまとめて提出することをオランダ人に義務づけ(オランダ風説書^{ふうせつがき})、中国人にも唐船風説書^{とうせんふうせつがき}を提出させ、海外の情報を独占した。このような幕府による禁教、貿易統制、外交独占の体制を鎖国^{さこく}と呼ぶ。(一路鎖国(1639))

※出題頻度「徳川家光△」「ポルトガル人の来航を禁止○」「鎖国◎」「長崎の出島◎」「オランダ◎」「オランダ風説書○」「清○」

[問題]

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ。

すでに 1624 年にスペイン船の来航を禁止していたが、島原・天草一揆後の 1639 年、第 3 代将軍(①)は(②)人の来航を禁止した。当時日本と貿易を行っていた(③)は、キリスト教のプロテスタントの国で、布教は行わず、貿易のみを行っていたので、引き続き貿易を認めることとし、1941 年に(③)商館を平戸から長崎の(④)に移した。また、(⑤) (17 世紀の初め中国では明が滅んで(⑤)が建国した)の商人も長崎でのみ貿易を認められた。中国人は長崎の中にある唐人屋敷に住まわせられ、奉行の監督下に置かれた。

幕府は、ヨーロッパやアジアの情勢を文書にまとめて提出することを(③)人に義務づけたが、これを(⑥)という。中国人にも唐船風説書を提出させ、海外の情報を独占した。このような幕府による禁教、貿易統制、外交独占の体制を(⑦)と呼ぶ。

【解答欄】

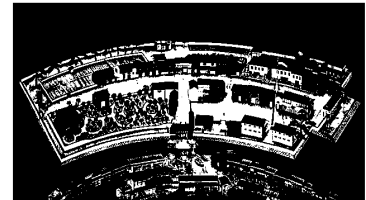
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

【解答】① 徳川家光 ② ポルトガル ③ オランダ ④ 出島 ⑤ 清 ⑥ オランダ風説書
⑦ 鎖国

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 1639年、幕府は何という国の船が来航するのを禁じたか。
- (2) (1)のときの将軍は誰か。
- (3) (1)によって完成した禁教、貿易統制、外交独占の体制を何というか。
- (4) (3)の後にも貿易を許されたヨーロッパの国をあげよ。
- (5) (4)の国との貿易は、ある都市の右図のような人工島に限って行われた。①この人工島の名称と、②所在する都市名を書け。
- (6) 幕府は(4)人に対し、ヨーロッパやアジアの情勢を文書にまとめて提出することを義務づけたが、この文書を何というか。
- (7) (4)とともに貿易が許された国を漢字1文字で答えよ。



【解答欄】

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)①	②	(6)	(7)

【解答】(1) ポルトガル (2) 徳川家光 (3) 鎖国 (4) オランダ (5)① 出島 ② 長崎
(6) オランダ風説書 (7) 清

【要点：朝鮮との関係】

豊臣秀吉の朝鮮侵略の後、朝鮮との国交はとだえていたが、対馬藩の努力で、1609年、徳川家康のときに国交が回復した。その後、将軍の代がわりごとに朝鮮から朝鮮通信使という使節が訪れた。対馬藩は朝鮮との国交の実務を担当するかわりに、朝鮮との貿易を許可されて、銀や銅を輸出し、朝鮮ににんじん、木綿、絹織物などを輸入した。



※出題頻度「朝鮮通信使◎」「対馬藩◎」「輸入：朝鮮ににんじんなど△」「輸出：銀や銅△」

[問題]

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

豊臣秀吉の朝鮮侵略の後、朝鮮との国交はとだえていたが、(①)藩の努力で、1609年、徳川家康のときに国交が回復した。その後、将軍の代わりごとに朝鮮から(②)という使節が訪れた。(①)藩は朝鮮との国交の実務を担当するかわりに、朝鮮との貿易を許可されて、銀や(③)を輸出し、朝鮮(④)、木綿、絹織物などを輸入した。

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 対馬 ② 朝鮮通信使 ③ 銅 ④ にんじん

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) ①将軍が変わるたびごとに、使節団を日本へ送った国はどこか。②また、この使節団を何というか。
- (2) (1)の使節団の目的は何か。
- (3) (1)の国との国交や貿易の拠点となった藩は何か。
- (4) (3)の藩が(1)から輸入した物を1つあげよ。

[解答欄]

(1)①	②	
(2)		
(3)	(4)	

[解答](1)① 朝鮮 ② 朝鮮通信使 (2) 新しい将軍に祝賀の意を表すため。 (3) 対馬藩 (4) 朝鮮にんじん(木綿, 絹織物)

[要点：琉球王国・アイヌ民族]

17世紀の初め、琉球王国は薩摩藩に征服された。幕府が琉球王国を異国と位置づけたため、国際的には独立国で、明や清にも朝貢し、貿易も行っていた。薩摩藩は、きびしく監督をしたり、中国や東アジアとの貿易を、薩摩藩の管理の下で続けさせたりして利益を得た。また、薩摩藩は、将軍や琉球王国の国王に代わりがあると、使節を江戸に連れてきて、将軍にあいさつさせた。これを琉球使節という。

蝦夷地にはアイヌ民族が住んでいたが、蝦夷地南部に領地をもつ松前藩は、アイヌの人々との取引を独占し暴利を得ていた。これに不満をいだいたアイヌの人々は17世紀の後半、シャクシャインを指導者として戦いを起こした。松前藩は幕府に助けを求めて、ようやくこれをしずめた。



※出題頻度「琉球王国○」「薩摩藩○」「琉球使節△」「アイヌ民族△」「シャクシャイン○」
「松前藩○」

【問題】

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

17世紀の初め、(①)王国は(②)藩に征服された。幕府が(①)王国を異国と位置づけたため、国際的には独立国で、明や清にも朝貢し、貿易も行っていった。(②)藩は、きびしく監督をしたり、中国や東アジアとの貿易を、(②)藩の管理の下で続けさせたりして利益を得た。また、(②)藩は、将軍や(①)王国の国王に代わりがあると、使節を江戸に連れてきて、将軍にあいさつさせた。これを(③)という。

蝦夷地には(④)民族が住んでいたが、蝦夷地南部に領地をもつ(⑤)藩は、(④)の人々との取引を独占し暴利を得ていた。これに不満をいだいた(④)の人々は17世紀の後半、(⑥)を指導者として戦いを起こした。(⑤)藩は幕府に助けを求めて、ようやくこれをしずめた。

【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥		

【解答】① 琉球 ② 薩摩 ③ 琉球使節 ④ アイヌ ⑤ 松前 ⑥ シャクシャイン

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) ①日本・中国・東南アジアとの中継貿易で栄えたが、17世紀にある藩に征服された国はどこか。②「ある藩」とは何か。
- (2) 北海道は江戸時代には何と呼ばれていたか。
- (3) 北海道に住んでいた民族は何か。
- (4) 北海道に進出し、函館付近にとりでを構えたのは何藩か。
- (5) (4)は(3)との貿易で大きな利益をあげたが、不平等な貿易であったために(3)の反乱がおきた。この反乱の指導者は誰か。

【解答欄】

(1)①	②	(2)	(3)
(4)	(5)		

【解答】(1)① 琉球王国 ② 薩摩藩 (2) 蝦夷地 (3) アイヌ民族 (4) 松前藩
(5) シャクシャイン

【】産業・都市の発達

[要点：新田開発・農具の進歩]

幕府や藩は、大規模な用水路をつくり、荒れ地を開墾して田畑の面積を広げ、有明海や児島湾、広い沼地を干拓したりして新田開発を行った。その結果、田畑の面積は豊臣秀吉のころから100年の間に約2倍になった。

江戸時代になって、備中ぐわ(土を深く耕すことを可能にした)、千歯こき(稲穂からもみをしごいてとる(脱穀))、唐箕(風を送りもみがらなどを取りさる)などの農具が普及し、農業技術が向上した。



また、現金収入を得るため、菜種油の原料になるあぶらな、染料に使うあいやべにばななどの商品作物の栽培が広まった。べにばなは化粧品の原料としても使われた。

※出題頻度「新田開発○」「干拓△」「2倍○」「備中ぐわ◎」「千歯こき◎」「唐箕△」「商品作物○」「べにばな△」

【問題】

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

幕府や藩は、大規模な用水路をつくり、荒れ地を開墾して田畑の面積を広げ、有明海や児島湾、広い沼地を干拓したりして(①)開発を行った。その結果、田畑の面積は豊臣秀吉のころから100年の間に約(②)倍になった。

江戸時代になって、(③)(土を深く耕すことを可能にした)、(④)(稲穂からもみをしごいてとる(脱穀))、唐箕(風を送りもみがらなどを取りさる)などの農具が普及し、農業技術が向上した。

また、(⑤)収入を得るため、菜種油の原料になるあぶらな、染料に使うあいやべにばななどの(⑥)作物の栽培が広まった。べにばなは化粧品の原料としても使われた。

【解答欄】

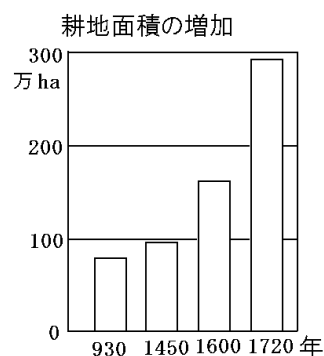
①	②	③	④
⑤	⑥		

【解答】① 新田 ② 2 ③ 備中ぐわ ④ 千歯こき ⑤ 現金 ⑥ 商品

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 右のグラフから、1720年ごろの全国の耕地面積は、安土・桃山時代の終わりに比べて約何倍になっているか。整数で答えよ。
- (2) 右のグラフのように、耕地面積がふえたもっとも大きな理由は何か。漢字4文字で答えよ。
- (3) (2)のため、有明海や児島湾などではどのようにして土地を広げたか。漢字2文字で答えよ。
- (4) 江戸時代に発明された田畑を深く耕すことを可能にした農具は何か。また下の図のどれか。
- (5) 脱穀のための農具が発明されて、脱穀の能率が向上したが、何という農具か。また、それは下の図のどれか。



- (6) 農業の生産が高まるにつれて栽培されるようになった、商品として販売し、現金収入を得ることができる作物を何というか。
- (7) (6)のような作物のうち、化粧品や染料として使用されたものを1つあげよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	

[解答](1) 約2倍 (2) 新田開発 (3) 干拓 (4) 備中ぐわ, ア (5) 千歯こき, イ (6) 商品作物 (7) ベにばな

[要点：水産業]

水産業では、網が改良されて大量漁獲が可能になった。九十九里浜(千葉県)では、このような網を使った大規模ないわし漁がおこなわれるようになった。いわしは干鰯という肥料に加工されて、近畿地方などの綿作地帯に売られた。蝦夷地では、にしん漁やこんぶ漁が発達した。にしんやこんぶは、蝦夷地の松前藩がアイヌの人々から米や鉄器などとの交換で得ていた。紀伊や土佐では捕鯨やかつお漁がさかんになった。

※出題頻度「いわし○」「干鰯○」「こんぶ, にしん△」「かつお△」

[問題]

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

水産業では、網が改良されて大量漁獲が可能になった。九十九里浜(千葉県)では、このような網を使った大規模な(①)漁がおこなわれるようになった。(①)は(②)という肥料に加工されて、近畿地方などの綿作地帯に売られた。蝦夷地では、にしん漁や(③)漁が発達した。にしんや(③)は、蝦夷地の松前藩がアイヌの人々から米や鉄器などとの交換で得ていた。紀伊や土佐では捕鯨や(④)漁がさかんになった。

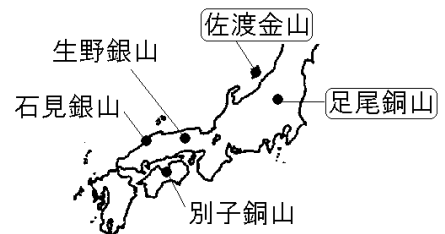
[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① いわし ② 干鰯 ③ こんぶ ④ かつお

[要点：鉱業]

採掘・排水・精錬などの技術進歩により、佐渡金山(新潟県)、石見銀山(島根県)、生野銀山(兵庫県)、別子銅山(愛媛県)、足尾銅山(栃木県)などが開かれ、17世紀の初めに、日本は世界でも有数の金銀の産出国になった。17世紀後半になると、金銀の産出量は急減し、かわって銅の産出量が増加した。幕府は、江戸や京都に



設けた金座や銀座などで、大判・小判・一分金といった金貨や、銀貨をつくった。また、全国各地に設けられた銭座で寛永通宝という銅貨を大量につくって全国に流通させた。

※出題頻度「佐渡金山(地図)○」「石見銀山(地図)○」「足尾銅山(地図)○」「寛永通宝○」

[問題]

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

採掘・排水・精錬などの技術進歩により、(①)金山(新潟県)、(②)銀山(島根県)、生野銀山(兵庫県)、別子銅山(愛媛県)、(③)銅山(栃木県)などが開かれ、17世紀の初めに、日本は世界でも有数の金銀の産出国になった。17世紀後半になると、金銀の産出量は急減し、かわって銅の産出量が増加した。幕府は、江戸や京都に設けた金座や銀座などで、大判・小判・一分金といった金貨や、銀貨をつくった。また、全国各地に設けられた銭座で(④)という銅貨を大量につくって全国に流通させた。

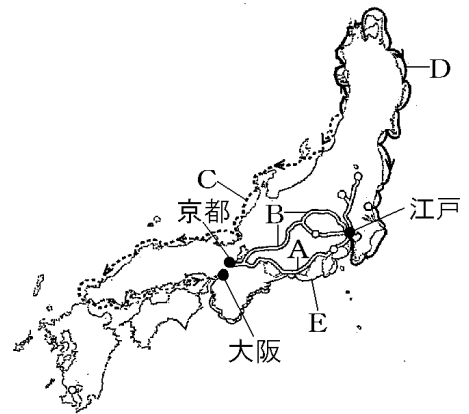
[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 佐渡 ② 石見 ③ 足尾 ④ 寛永通宝

[要点：交通路の整備]

全国的な陸上交通の整備は豊臣政権にはじまり、江戸幕府により完成された。幕府は、江戸を中心に東海道 (図のA)・中山道(図のB)・甲州道中・奥州道中・日光道中の五街道を整備した。東海道の箱根や新居，中山道の碓氷などには関所を設け，人々の通行や荷物の運送を監視した。街道沿いには宿泊施設などが整備され，宿場町が栄えた。また，手紙や荷物を運ぶ飛脚が街道を行き来した。



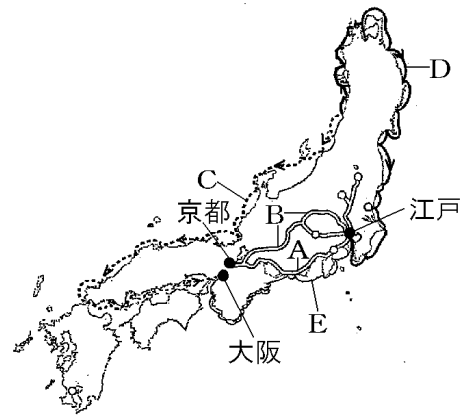
海上交通では，東北地方などの米を，太平洋沿岸をまわって江戸に運ぶ航路を東廻り航路(図のD)，日本海沿岸から瀬戸内海をまわって大阪に運ぶ航路を西廻り航路(図のC)と呼んだ。江戸・大阪間には，木綿や油，しょう油を運ぶ菱垣廻船(図のE)，酒を運ぶ樽廻船(図のE)と呼ばれる定期船が運行され，これらの物資を大阪から江戸へ運んだ。

※出題頻度「五街道○」「東海道○」「中山道○」「関所△」「西廻り航路○」「東廻り航路○」「菱垣廻船○」「樽廻船○」

[問題]

次の文章中の①～⑧に適語を入れよ。

全国的な陸上交通の整備は豊臣政権にはじまり，江戸幕府により完成された。幕府は，江戸を中心に (①) (図の A) ・ (②) (図の B) ・ 甲州道中 ・ 奥州道中 ・ 日光道中の (③) を整備した。(①)の箱根や新居，中山道の碓氷などには (④) を設け，人々の通行や荷物の運送を監視した。街道沿いには宿泊施設などが整備され，宿場町が栄えた。また，手紙や荷物を運ぶ飛脚が街道を行き来した。



海上交通では，東北地方などの米を，太平洋沿岸をまわって江戸に運ぶ航路を (⑤) 航路(図の D)，日本海沿岸から瀬戸内海をまわって大阪に運ぶ航路を (⑥) 航路(図の C)と呼んだ。江戸・大阪間には，木綿や油，しょう油を運ぶ (⑦) (図の E)，酒を運ぶ (⑧) (図の E)と呼ばれる定期船が運行され，これらの物資を大阪から江戸へ運んだ。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

【解答】① 東海道 ② 中山道 ③ 五街道 ④ 関所 ⑤ 東廻り ⑥ 西廻り ⑦ 菱垣廻船
⑧ 樽廻船

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 右図の①と②の街道名を書け。
 (2) 江戸を中心とする(1)などの5つの陸上交通路を総称して何というか。
 (3) 江戸時代の海運について、次の航路を何というか。
 ① 東北・北陸地方の物資を、津軽海峡を通過して江戸に運ぶ航路。
 ② 東北・北陸地方の物資を、日本海沿岸をまわって瀬戸内海を経て大阪に運ぶ航路。
 (4) (3)の航路ではおもにどんなものが運ばれていたか。漢字1字で答えよ。
 (5) 江戸と大阪の間を結んで物資を運んだ定期船で、①木綿、油、しょう油などを運んでいた定期船、②おもに酒を運んでいた定期船を何というか。



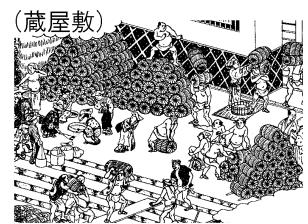
【解答欄】

(1)①	②	(2)	(3)①
②	(4)	(5)①	②

【解答】(1)① 東海道 ② 中山道 (2) 五街道 (3)① 東廻り航路 ② 西廻り航路 (4) 米
(5)① 菱垣廻船 ② 樽廻船

【要点：都市・商業】

各地の大名は、大阪に蔵屋敷をおいて米や特産品を販売して藩の財政をまかなった。大阪は、全国の商業や金融の中心として栄えた商業都市で、「天下の台所」と呼ばれた。江戸は「将軍のおひざもと」といわれ、人口は約100万人に達した。京都は、朝廷がある古代からの都で、西陣織や清水焼などの優れた工芸品もつくられ、文化の中心地としてさかえた。大阪・京都を上方という。江戸、大阪、京都をあわせて三都と呼んだ。



都市では、問屋や仲買などの大商人が株仲間という同業者の組織をつくり、幕府の許可を得て営業を独占し、大きな力を持つようになった。



東日本では金、西日本では銀がおもに流通したため、金銀を両替する両替商もいた。

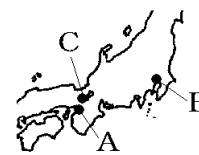
※出題頻度「大阪(地図)○」「天下の台所◎」「蔵屋敷◎」「京都(地図)○」「上方△」

「江戸(地図)○」「将軍のおひざもと○」「三都○」「株仲間○」「両替商△」

[問題]

次の文章中の①～⑧に適語を入れよ。

各地の大名は、(①)(図の A)に(②)屋敷において米や特産品を販売して藩の財政をまかなった。(①)は、全国の商業や金融の中心として栄えた商業都市で、「天下の(③)」と呼ばれた。(④)(図の B)は「将軍の(⑤)」といわれ、人口は約 100 万人に達した。



(⑥)(図の C)は、朝廷がある古代からの都で、西陣織や清水焼などの優れた工芸品もつくられ、文化の中心地としてさかえた。大阪・京都を上方という。江戸、大阪、京都をあわせて(⑦)と呼んだ。

都市では、問屋や仲買などの大商人が(⑧)という同業者の組織をつくり、幕府の許可を得て営業を独占し、大きな力を持つようになった。東日本では金、西日本では銀がおもに流通したため、金銀を両替する両替商もいた。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

[解答]① 大阪 ② 蔵 ③ 台所 ④ 江戸 ⑤ おひざもと ⑥ 京都 ⑦ 三都 ⑧ 株仲間

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 江戸時代の商業の中心となった都市はどこか。①都市名を答えよ。②またその位置を地図から選べ。
- (2) 江戸時代、(1)の都市は何と呼ばれていたか。
- (3) 大名が自分の領地でとれた米や特産物を保管するために(1)の都市に置いた建物は何か。
- (4) 江戸時代、将軍の城下町で政治の中心地であった都市はどこか。①都市名を答えよ。②またその位置を地図から選べ。
- (5) 江戸時代、(4)の都市は何と呼ばれていたか。
- (6) 寺社への参詣人が集まり、西陣織や清水焼などの伝統的な手工業がさかんだった都市はどこか。①都市名を答えよ。②またその位置を地図から選べ。
- (7) 大阪・京都を当時何と呼んだか。
- (8) 江戸、大阪、京都をあわせて何といったか。
- (9) 大名や幕府の役人と結びつき、営業上の特権を得て、力をふるった同業者の組合を何というか。
- (10) 当時、地方によって通用する貨幣が違ったので、貨幣を交換する仕事をする者が出てきた。これを何というか。



[解答欄]

(1)①	②	(2)	(3)
(4)①	②	(5)	
(6)①	②	(7)	(8)
(9)	(10)		

[解答](1)① 大阪 ② オ (2) 天下の台所 (3) 蔵屋敷 (4)① 江戸 ② イ

(5) 将軍のおひざもと (6)① 京都 ② エ (7) 上方 (8) 三都 (9) 株仲間 (10) 両替商

【】 綱吉の政治・元禄文化

[要点：綱吉の政治・正徳の治]

第5代将軍徳川綱吉は儒学を奨励した。儒学の中でも、身分秩序を重視する朱子学が広く学ばれた。徳川綱吉は、「(綱吉に)子どもができないのは前世における殺生のためである」というある僧のすすめに従い、生類憐みの令を出し、鳥獣、とくに犬を大切にし、殺傷した者は重い刑に処した。徳川綱吉の時代、幕府の財政は苦しくなっていた。そこで、貨幣の質を落として発行する量を増やし、幕府の収入を増やそうとした。しかし、物価の上昇を招く結果になった。徳川綱吉の後、18世紀初めに正徳の治を行った新井白石は貨幣の質を元にもどした。

※出題頻度「徳川綱吉○」「朱子学△」「生類憐みの令△」「貨幣の質を落として発行する量を増やした→物価の上昇△」「新井白石△」「正徳の治△」

[問題]

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

第5代将軍(①)は儒学を奨励した。儒学の中でも、身分秩序を重視する(②)学が広く学ばれた。(①)は、「子どもができないのは前世における殺生のためである」というある僧のすすめに従い、(③)の令を出し、鳥獣、とくに犬を大切にし、殺傷した者は重い刑に処した。(①)の時代、幕府の財政は苦しくなっていた。そこで、貨幣の質を落として発行する量を増やし、幕府の収入を増やそうとした。しかし、物価の上昇を招く結果になった。(①)の後、18世紀初めに正徳の治を行った(④)は貨幣の質を元にもどした。

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 徳川綱吉 ② 朱子 ③ 生類憐み ④ 新井白石

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 江戸の湯島に孔子を祭る聖堂を建てて儒学を奨励した第5代将軍は誰か。
- (2) (1)は儒学の中でも特に忠孝道徳を強調する何という学問を重視したか。
- (3) (1)の将軍が出した極端な動物愛護令は何か。
- (4) (1)の将軍が財政悪化の対策として行ったことは何か。「貨幣の質」「発行する量」「幕府の収入」という語句を使って簡単に説明せよ。
- (5) (4)の結果はどうなったか。「物価」という語句を使って簡単に説明せよ。
- (6) (1)の将軍の後の第6, 7代将軍に仕え、貨幣の質を元にもどしたのは誰か。
- (7) (6)が行った政治を何というか。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)
(4)		
(5)	(6)	(7)

【解答】(1) 徳川綱吉 (2) 朱子学 (3) 生類憐みの令 (4) 貨幣の質を落として発行する量を増やし、幕府の収入を増やそうとした。(5) 物価が上昇した。(6) 新井白石 (7) 正徳の治

【要点：元禄文化】

徳川綱吉の時代に、京都や大阪を中心とする上方^{かみがた}では、都市の繁栄^{はんえい}を背景に、経済力を持った町人をにない手とする文化が栄えた。この文化を元禄文化^{げんろく}という。

各地を旅しながら俳諧^{はいかい}(俳句)を芸術の域まで高めたのは「奥の細道^{おくほそみち}」で名高い松尾芭蕉^{まつおばしやう}である。近松門左衛門^{ちかまつもんざえもん}は「曾根崎心中^{そねざきしんじゆう}」など人形浄瑠璃^{にんぎやうじやうり}の台本に、義理と人情の板ばさみになやむ男女の気持ちを書いた。大阪の町人井原西鶴^{いはらさいかく}は、「日本永代蔵」など、当時の世相や町人のくらしをありのままに浮世草子^{うきよぞうし}という小説にえがいた。

歌舞伎では、坂田藤十郎^{さかたとうじゅうろう}や市川団十郎^{いちかわだんじゅうろう}らの名優^{めいゆう}が出た。菱川師宣^{ひしかわもちのぶ}は、町人の風俗^{ふうぞく}をえがき、浮世絵^{うきよえ}の祖となった。その代表作は右図の「見返り美人図^{みかえびじんず}」である。装飾画^{そうしよくが}では、17世紀前半の俵屋宗達^{たわらやそうたつ}(「風神雷神図屏風^{ふうじんらいじんずびやうぶ}」)の影響を受けた尾形光琳^{おがたこうりん}が大和絵風のはなやかな装飾画^{そうしよくが}を大成した。



※出題頻度「元禄文化◎」「上方で、経済力を持った町人をにない手とする文化○」

「俳諧の松尾芭蕉○」「奥の細道△」「人形浄瑠璃の近松門左衛門○」「浮世草子の井原西鶴○」「浮世絵○」「菱川師宣○」「見返り美人△」「俵屋宗達△」「尾形光琳△」

【問題】

次の文章中の①～⑧に適語を入れよ(または、適語を選べ)。

徳川綱吉の時代に、①(江戸／上方)では、都市の繁栄を背景に、経済力を持った町人をにない手とする文化が栄えた。この文化を(②)という。

各地を旅しながら俳諧(俳句)を芸術の域まで高めたのは「奥の細道」で名高い(③)である。(④)は「曾根崎心中」など人形浄瑠璃の台本に、義理と人情の板ばさみになやむ男女の気持ちを書いた。大阪の町人(⑤)は、「日本永代蔵」など、当時の世相や町人のくらしをありのままに(⑥)草子という小説にえがいた。歌舞伎では、坂田藤十郎や市川団十郎らの名優が出た。(⑦)は、町人の風俗をえがき、浮世絵の祖となった。その代表作は右図の「(⑧)図」である。装飾画では、17世紀前半の俵屋宗達(「風神雷神図屏風」)の影響を受けた尾形光琳が大和絵風のはなやかな装飾画を大成した。



【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

【解答】① 上方 ② 元禄文化 ③ 松尾芭蕉 ④ 近松門左衛門 ⑤ 井原西鶴 ⑥ 浮世
⑦ 菱川師宣 ⑧ 見返り美人

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 17世紀末から18世紀はじめにかけて栄えた文化を何というか。
- (2) (1)の文化が栄えたのは江戸か上方か。
- (3) 俳諧(俳句)を芸術の域まで高めたのは人物は誰か。
- (4) (3)の代表的作品を1つあげよ。
- (5) 義理と人情の板ばさみになってゆれる男女の気持ちを題材に「曾根崎心中」などの人形浄瑠璃の台本を書いた人物は誰か。
- (6) 浮世草子の作者で、「日本永代蔵」を書いた人物は誰か。
- (7) ①右の「見返り美人」の作者は誰か。②また、このような絵を何というか。



【解答欄】

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)①	②

【解答】(1) 元禄文化 (2) 上方 (3) 松尾芭蕉 (4) 奥の細道 (5) 近松門左衛門
(6) 井原西鶴 (7)① 菱川師宣 ② 浮世絵

【】 享保の改革～寛政の改革

[要点：享保の改革]

1716年、徳川吉宗が第8代将軍になったとき、幕府は財政難に苦しんでいた。そこで、徳川吉宗は享保の改革を実施した。(美男ヒーロー(1716)吉宗公) 徳川吉宗は、武士に質素・儉約をすすめる一方で、新田開発を進め、年貢の率を引き上げた。また、米の値段の安定にも努めた。さらに、上げ米の制を定め、参勤交代で大名が江戸にいる期間を1年から半年に短縮するかわりに、1万石について百石の米を幕府におさめさせた。さらに、公事方御定書という裁判の基準となる法律をつくった。民衆の意見を直接聞くために目安箱を設けた。このような改革によって、幕府の収入は増加し、財政はいったん立ち直った。しかし、米価は安定せず、ききんも重なったことから、江戸で初めての打ちこわしが起きた。

※出題頻度「徳川吉宗○」「享保の改革○」「新田開発△」「上げ米の制○」「公事方御定書○」「目安箱○」

[問題]

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

1716年、(①)が第8代将軍になったとき、幕府は財政難に苦しんでいた。そこで、(①)は(②)の改革を実施した。(①)は、武士に質素・儉約をすすめる一方で、(③)開発を進め、年貢の率を引き上げた。また、米の値段の安定にも努めた。さらに、(④)の制を定め、参勤交代で大名が江戸にいる期間を1年から半年に短縮するかわりに、1万石について百石の米を幕府におさめさせた。さらに、(⑤)書という裁判の基準となる法律をつくった。民衆の意見を直接聞くために(⑥)箱を設けた。

このような改革によって、幕府の収入は増加し、財政はいったん立ち直った。しかし、米価は安定せず、ききんも重なったことから、江戸で初めての打ちこわしが起きた。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥		

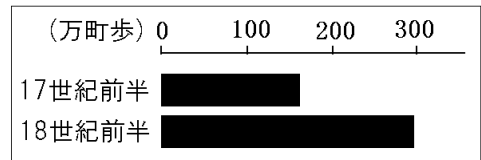
[解答]① 徳川吉宗 ② 享保 ③ 新田 ④ 上げ米 ⑤ 公事方御定 ⑥ 目安

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 1716年に第8代将軍となったのは誰か。
- (2) (1)の人物が行った改革を何というか。
- (3) 幕府の財政を立て直すために具体的にどのようなことを行ったか。右の資料から分かることを書け。
- (4) 幕府の収入をふやすため、参勤交代で大名が江戸にいる期間を1年から半年に短縮するかわりに1万石につき100石の米を幕府におさめさせることとしたが、この制度を何というか。
- (5) 裁判の基準とするために作った法令集を何というか。
- (6) 人々の意見を聞くために設置した投書箱を何というか。

[耕地面積の変化]



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)

[解答](1) 徳川吉宗 (2) 享保の改革 (3) 新田開発を進めた。 (4) 上げ米の制
(5) 公事方御定書 (6) 目安箱

[要点：問屋制家内工業・工場制手工業]

18世紀ごろから、問屋が農民に織機しよつきやお金を前貸して布を織らせ、製品を安く買い取るようになった。これを問屋制家内工業といやせいかないこうぎょうという。19世紀ごろには、大商人や地主の中に、工場こうじょうを建設し、人をやとって分業で製品を作る者があらわれた。これを工場制手工業こうじょうせいしゅこうぎょう(マニュファクチュア)という。

※出題頻度「問屋制家内工業○」「工場制手工業◎」「工場を建設し、人をやとって分業で製品を作る工業○」

[問題]

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

18世紀ごろから、問屋が農民に織機やお金を前貸して布を織らせ、製品を安く買い取るようになった。これを(①)工業という。19世紀ごろには、大商人や地主の中に、工場を建設し、人をやとって(②)で製品を作る者があらわれた。これを(③)工業(マニュファクチュア)という。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 問屋制家内 ② 分業 ③ 工場制手

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 材料や道具を農民に貸し、製品を買い取ることを、何工業というか。
- (2) 19世紀にはいると、豊かな地主は、村内の小作人を作業所に集め道具をそろえて分業をさせるようになった。これを何というか。

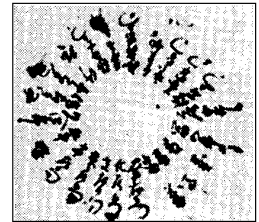
[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 問屋制家内工業 (2) 工場制手工業

[要点：百姓一揆と打ちこわし]

自給自足に近かった農村に貨幣経済が広がり、成功して豊かになる農民がいる一方で、失敗して土地を手放して小作人になる農民が増え、貧富の差が大きくなった。貧しい小作人が増えると、日照りなどでちょっとした不作になっただけでも、ききんがおこりやすくなった。ききんのときに、農村では年貢の軽減や不正な代官の交代などを要求する百姓一揆が多く発生した。右図は、一揆の参加者が円形に署名したからかさ連判状である。円形に署名しているのは、一揆の中心人物がわからないようにするためである。また、江戸や大阪などの都市では、貧しい人々が、米の値段をつり上げる大商人をおそう打ちこわしが起こった。



※出題頻度「小作人の増加△」「貧富の差△」「百姓一揆◎」「ききんのときに多く発生○」「からかさ連判状○」「一揆の中心人物がわからないようにするため◎」「打ちこわし◎」

[問題]

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

自給自足に近かった農村に貨幣経済が広がり、成功して豊かになる農民がいる一方で、失敗して土地を手放して(①)人になる農民が増え、貧富の差が大きくなった。貧しい(①)人が増えると、日照りなどでちょっとした不作になっただけでも、(②)がおこりやすくなった。(②)のときに、農村では年貢の軽減や不正な代官の交代などを要求する(③)一揆が多く発生した。右図は、一揆の参加者が円形に署名した(④)連判状である。円形に署名しているのは、一揆の中心人物が(⑤)ようにするためである。また、江戸や大阪などの都市では、貧しい人々が、米の値段をつり上げる大商人をおそう(⑥)が起こった。



【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥		

【解答】① 小作 ② ききん ③ 百姓 ④ からかさ ⑤ わからない ⑥ 打ちこわし

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 18世紀になると、団結した農民が、領主に年貢の軽減や不正な代官の交代などを要求して城下におし寄せなどの行動を起こすようになった。これを何というか。
- (2) 右の資料は、(1)のとき、参加した人が署名したものである。
①これを何というか。②円形に署名がなされているが、その理由を簡単に説明せよ。
- (3) 都市の貧しい人々が団結して、米の買い占めをした商人に対しておこした暴動を何というか。
- (4) (1)や(3)は、どのようなできごとのときに最も多く起こったか。ひらがな3文字で答えよ。



【解答欄】

(1)	(2)①
②	
(3)	(4)

【解答】(1) 百姓一揆 (2)① からかさ連判状 ③一揆の中心人物がわからないようにするため。(3) 打ちこわし (4) ききん

【要点：田沼の政治】

1772年に老中になった田沼意次たぬまおきつぐは商人の経済力を利用することによって幕府の財政を立て直す政策をとった。(非難何(1772)するものぞと田沼さん) すなわち、1)商工業者が株仲間かぶなかまを結ぶことを奨励しょうれいして、これに特権を与えるかわりに営業税を取り立てた。2)町人に出資させて印旛沼いんぼぬま(千葉県)などの干拓かんたくを行い、新田開発を行った 3)長崎での貿易を活発にするために銅の専売制を実施し、銅や海産物(俵物たわらもの)の輸出を奨励した。4)俵物の輸出を拡大するために蝦夷地えぞちの調査を行った。しかし、一部の大商人と結びつき、わいろわいろが横行おうこうして政治が乱れた。(「役人の子はにぎにぎをよくおぼえ」という川柳せんりゅうはわいろの横行ふうしを風刺したものである。)1782年に起こった天明てんめいのききんあさまやま だいふんかは、翌年の浅間山あさまやまの大噴火だいふんかなどによる凶作きょうさくで、全国に広がった。百姓一揆ひやくしやういっきや打ちこわしが起こり、田沼は老中をやめさせられた。

※出題頻度「田沼意次◎」「株仲間◎」「営業税△」「印旛沼の干拓△」「長崎での貿易を活発にする△」「蝦夷地の調査△」「わいろ○」「天明のききん△」「浅間山△」

[問題]

次の文章中の①～⑧に適語を入れよ。

1772年に老中になった(①)は商人の経済力を利用することによって幕府の財政を立て直す政策をとった。すなわち、1)商工業者が(②)を結ぶことを奨励して、これに特権を与えるかわりに(③)を取り立てた。2)町人に出資させて(④)(千葉県)などの干拓を行い、新田開発を行った。3)(⑤)(都市名)での貿易を活発にするために銅の専売制を実施し、銅や海産物(俵物)の輸出を奨励した。4)俵物の輸出を拡大するために(⑥)(地名)の調査を行った。しかし、一部の大商人と結びつき、(⑦)が横行して政治が乱れた。(「役人の子はにぎにぎをよくおぼえ」という川柳は(⑦)の横行を風刺したものである。)

1782年に起こった(⑧)のききんは、翌年の浅間山の大噴火などによる凶作で、全国に広がった。百姓一揆や打ちこわしが起こり、(①)は老中をやめさせられた。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

[解答]① 田沼意次 ② 株仲間 ③ 営業税 ④ 印旛沼 ⑤ 長崎 ⑥ 蝦夷地 ⑦ わいろ ⑧ 天明

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 1772年に老中になって、商工業者の力を利用して幕府の財政の立て直しをはかろうとした人物は誰か。
- (2) (1)の政治で奨励された、商工業者の同業者組織を何というか。
- (3) 「役人の子はにぎにぎをよくおぼえ」という川柳は、(1)の政治で何が横行したことを風刺しているか。
- (4) (1)が干拓を行った千葉県の沼を答えよ。
- (5) (1)は俵物の輸出を拡大するためにどこの調査を行ったか。
- (6) (1)は銅の専売制を実施したが、何という都市における貿易を活発にするためだったか。
- (7) 1782年に起きたききんを何というか。
- (8) (7)のききんは翌年のある火山の大噴火による凶作で全国に広がった。何という火山か。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)

[解答](1) 田沼意次 (2) 株仲間 (3) わいろ (4) 印旛沼 (5) 蝦夷地 (6) 長崎 (7) 天明のききん (8) 浅間山

[要点：寛政の改革]

田沼意次にかわって 1787 年に老中になった松平定信は寛政の改革を行った。(非難はな(1787)いかと定信さん) 改革の内容は、1)農民の都市への出かせぎを禁止し、江戸などに出てきていた農民を農村に帰した。2)凶作やききんに備えるため、各地に倉を設けて米を蓄えさせた。3)旗本や御家人の生活難を救うため、金融業を営んでいた札差からの借金を帳消しにした。4)江戸の湯島に昌平坂学問所をつくり、ここでは朱子学以外の学問を教えることを禁止した。5)出版物の内容まできびしい統制をくわえた。しかし、寛政の改革は十分な効果をあげることができず、きびしい統制や儉約の強要は民衆の反発をうんだ。

※出題頻度「松平定信◎」「寛政の改革◎」「借金の帳消し○」「昌平坂学問所○」「朱子学○」

[問題]

次の文章中の①～⑤に適語を入れよ。

田沼意次にかわって 1787 年に老中になった(①)は(②)の改革を行った。改革の内容は、1)農民の都市への出かせぎを禁止し、江戸などに出てきていた農民を農村に帰した。2)凶作やききんに備えるため、各地に倉を設けて米を蓄えさせた。3)旗本や御家人の生活難を救うため、金融業を営んでいた札差からの(③)を帳消しにした。4)江戸の湯島に(④)学問所をつくり、ここでは(⑤)以外の学問を教えることを禁止した。5)出版物の内容まできびしい統制をくわえた。しかし、(②)の改革は十分な効果をあげることができず、きびしい統制や儉約の強要は民衆の反発をうんだ。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤			

[解答]① 松平定信 ② 寛政 ③ 借金 ④ 昌平坂 ⑤ 朱子学

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 天明のききんによって百姓一揆や打ちこわしがおこり、その責任を取って田沼意次が失脚したが、その後、老中になって改革を行ったのは誰か。
- (2) (1)の行った改革を何というか。
- (3) (1)は旗本や御家人の生活を救うために町人からの何を帳消しにしたか。
- (4) ①(1)が江戸の湯島につくった学問所を何というか。②また、そこで教えられたのは儒学の中の何という学問か。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)①
②			

[解答](1) 松平定信 (2) 寛政の改革 (3) 借金 (4)① 昌平坂学問所 ② 朱子学

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 下線部 a, c は、それぞれ誰のことをさしているか。
- (2) 下線部 b は、何がさかんに行われていたことをさしているか。
- (3) 資料は、短歌の形を借りて、世相を風刺したものである。このようなものを何というか。
- (4) この資料は何という改革を風刺したもののか。

a 白河の清きに魚のすみかねて
もとの b 濁りの c 田沼恋しき

[解答欄]

(1)a	c	(2)	(3)
(4)			

[解答](1)a 松平定信 c 田沼意次 (2) わいろ (3) 狂歌 (4) 寛政の改革

【】新しい学問と化政文化

[要点：新しい学問など]

江戸時代には、日本の古典についての学問が進んだ。18世紀半ばに本居宣長もとおりりながが、日本古来の伝統を評価する「古事記伝こじきでん」をあらわし国学こくがくを大成した。国学は、天皇を尊ぶ思想と結びつき、幕末まぐらの尊王攘夷運動そんのうじょういうんどうに影響をあたえた。

杉田玄白すぎたげんぱくと前野良沢まえのりょうたくが「ターヘル・アナトミア」という解剖書かいぼうしょを翻訳して「解体新書かいたいしんしょ」を出版し、オランダ語でヨーロッパの文化を学ぶ蘭学らんがくの基礎を築いた。オランダ語の辞書や文法の書物をつくったり、オランダの医学書ほんやくを翻訳したりする者も出た。伊能忠敬いのうただたかは、幕府の命令で全国の海岸線を17年かけて測量し、現在とほとんど変わらないほど正確な日本地図をつくった。

18世紀ごろから庶民しよみんの間に教育への関心が高まり、町や農村に多くの寺子屋てらこやが開かれ、読み・書き・そろばんなどの実用的な知識を教えた。

京都や大阪などでは、学者が私塾しじゅくを開き、武士だけでなく町人や百姓の入門も許した。大阪の医者緒方洪庵おがたこうあんの適塾てきじゅくには、全国から弟子が集まった。長崎では、オランダ商館の医者シーボルトシーボルトが鳴滝塾なるたきじゅくを開き、手術などを行って見せた。諸藩では、藩校はんこうを設け、武士に学問や武道を教え、人材の育成を図った。

※出題頻度「国学○」「本居宣長◎」「古事記伝△」「蘭学○」「解体新書◎」「杉田玄白○」「前野良沢△」「伊能忠敬◎」「寺子屋◎」「読み・書き・そろばん△」「緒方洪庵△」「シーボルト△」「藩校△」

[問題]

次の文章中の①～⑩に適語を入れよ。

江戸時代には、日本の古典についての学問が進んだ。18世紀半ばに(①)が、日本古来の伝統を評価する「古事記伝」をあらわし(②)学を大成した。(②)学は、天皇を尊ぶ思想と結びつき、幕末の尊王攘夷運動に影響をあたえた。

(③)と前野良沢が「ターヘル・アナトミア」という解剖書を翻訳して「(④)」を出版し、オランダ語でヨーロッパの文化を学ぶ(⑤)学の基礎を築いた。オランダ語の辞書や文法の書物をつくったり、オランダの医学書を翻訳したりする者も出た。(⑥)は、幕府の命令で全国の海岸線を17年かけて測量し、現在とほとんど変わらないほど正確な日本地図をつくった。

18世紀ごろから庶民の間に教育への関心が高まり、町や農村に多くの(⑦)が開かれ、読み・書き・そろばんなどの実用的な知識を教えた。

京都や大阪などでは、学者が私塾を開き、武士だけでなく町人や百姓の入門も許した。大阪の医者(⑧)の適塾には、全国から弟子が集まった。長崎では、オランダ商館の医者(⑨)が鳴滝塾を開き、手術などを行って見せた。諸藩では、(⑩)校を設け、武士に学問や武道を教え、人材の育成を図った。

【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩		

【解答】① 本居宣長 ② 国 ③ 杉田玄白 ④ 解体新書 ⑤ 蘭 ⑥ 伊能忠敬 ⑦ 寺子屋
⑧ 緒方洪庵 ⑨ シーボルト ⑩ 藩

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 日本の古典を研究して、古代日本人の精神を知ろうとする学問は何か。
- (2) (1)を大成した人物は誰か。
- (3) (2)の代表的著作は何か。1つあげよ。
- (4) 西洋の学問文化を研究する学問は何と呼ばれたか。
- (5) 「ターヘル・アナトミア」というオランダの人体解剖書を翻訳した人物を2人あげよ。
- (6) (5)によって翻訳された書物の名前を答えよ。
- (7) 全国を測量して正確な日本地図を作った人は誰か。
- (8) 町人や農民の子供に実用的な知識を教えた場所を何というか。
- (9) (8)で子供たちに教えた内容を3つ書け。
- (10)長崎に鳴滝塾をつくったオランダ商館の医師はだれか。
- (11)諸藩では、何という学校をつくって武士の子弟を教育したか。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)		(6)	(7)
(8)	(9)		(10)
(11)			

【解答】(1) 国学 (2) 本居宣長 (3) 古事記伝 (4) 蘭学 (5) 杉田玄白, 前野良沢
(6) 解体新書 (7) 伊能忠敬 (8) 寺子屋 (9) 読み・書き・そろばん (10) シーボルト
(11) 藩校

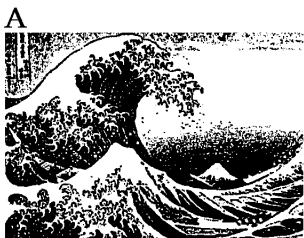
[要点：化政文化]

19世紀はじめの文化・文政年間には、文化の中心が上方から江戸に移った。この時代の庶民をにない手とする文化を化政文化という。

化政文化のころ、浮世絵の技術も進み、錦絵と呼ばれる多色刷りの美しい版画が作られた。

葛飾北斎(図A「富嶽三十六景」)や歌川広重(安藤広重)(図B)は風景画のすぐれた作品を残し、

喜多川歌麿は美人画(図C)をえがいた。東洲斎写楽は人気の歌舞伎役者の絵をえがいた。



俳諧(俳句)では、与謝蕪村が「菜の花や月は東に日は西に」など、絵のような美しさを表現し、

小林一茶は「雀の子そこのけそこのけお馬が通る」など素朴な感情をよんだ。また、

短歌や俳句の形式を借りて、世相を皮肉った狂歌や川柳が流行した。小説では、十返舎一九

の「東海道中膝栗毛」のようなこっけいな作品が人気を集める一方で、滝沢馬琴の「

南総里見八犬伝」などの長編小説も多くの人に読まれた。

※出題頻度「化政文化○」「江戸が中心△」「錦絵△」「葛飾北斎◎」「歌川広重○」

「喜多川歌麿○」「与謝蕪村△」「小林一茶△」「狂歌・川柳△」「十返舎一九△」「滝沢馬琴△」

[問題]

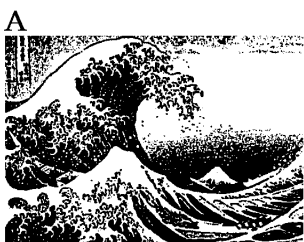
次の文章中の①～⑪に適語を入れよ。

19世紀はじめの文化・文政年間には、文化の中心が上方から(①)に移った。この時代の庶民をにない手とする文化を(②)文化という。

(②)文化のころ、浮世絵の技術も進み、(③)と呼ばれる多色刷りの美しい版画が作られた。

(④)(図 A「富嶽三十六景」)や(⑤)(図 B)は風景画のすぐれた作品を残し、(⑥)

は美人画(図 C)をえがいた。東洲斎写楽は人気の歌舞伎役者の絵をえがいた。



俳諧(俳句)では、(⑦)が「菜の花や月は東に日は西に」など、絵のような美しさを表現し、

(⑧)は「雀の子そこのけそこのけお馬が通る」など素朴な感情をよんだ。また、短歌や

俳句の形式を借りて、世相を皮肉った狂歌や(⑨)が流行した。小説では、(⑩)の「東

海道中膝栗毛」のようなこっけいな作品が人気を集める一方で、(⑪)の「南総里見八犬

伝」などの長編小説も多くの人に読まれた。

[解答欄]

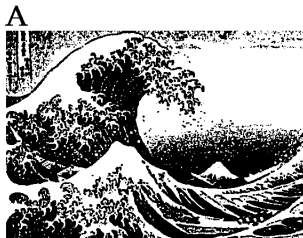
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	

[解答]① 江戸 ② 化政 ③ 錦絵 ④ 葛飾北斎 ⑤ 歌川広重(安藤広重) ⑥ 喜多川歌麿
⑦ 与謝蕪村 ⑧ 小林一茶 ⑨ 川柳 ⑩ 十返舎一九 ⑪ 滝沢馬琴

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) ①江戸時代の後期の文化・文政年間に栄えた文化は何か。②また、中心都市はどこか。
- (2) (1)①のころ、浮世絵の技術も進み多色刷りの版画も作られるようになった。このような多色刷りの浮世絵を何というか。
- (3) 次の①～④の浮世絵師の名前をそれぞれ答えよ。
 - ① 富士山を中心に図 A のような「富嶽三十六景」を描いた。
 - ② 図 B のような「東海道五十三次」を描いた。
 - ③ 図 C のような美人画を描いた。
 - ④ 人気の歌舞伎役者の絵を描いた。



- (4) 「菜の花や 月は東に日は西に」という俳諧の作者は誰か。
- (5) 「われときて遊べや親のない雀」という俳諧の作者は誰か。
- (6) 「白河の清きに魚のすみかねてもとの濁りの田沼恋しき」のような作品を何というか。
- (7) 「東海道中膝栗毛」というこっけいな小説を書いた人物は誰か。
- (8) 教訓を含んだ「南総里見八犬伝」を書いた人物は誰か。

[解答欄]

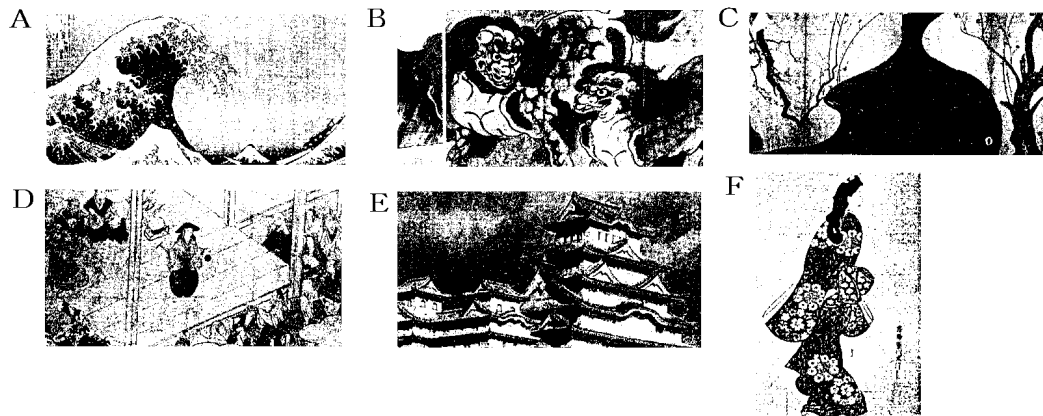
(1)①	②	(2)	(3)①
②	③	④	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)

[解答](1)① 化政文化 ② 江戸 (2) 錦絵 (3)① 葛飾北斎 ② 歌川広重(安藤広重)
 ③ 喜多川歌麿 ④ 東洲斎写楽 (4) 与謝蕪村 (5) 小林一茶 (6) 狂歌 (7) 十返舎一九
 (8) 滝沢馬琴

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 次の A～E は、それぞれ桃山文化、元禄文化、化政文化のいずれの時期のものか。
 (2) Aの絵の作者は誰か。
 (3) Fの絵の作者は誰か。



[解答欄]

(1)A	B	C	D
E	F	(2)	(3)

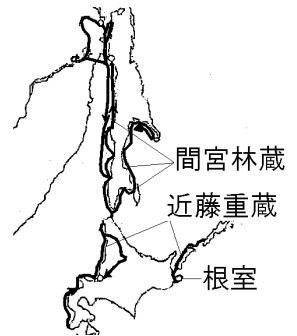
[解答](1)A 化政文化 B 桃山文化 C 元禄文化 D 桃山文化 E 桃山文化 F 元禄文化
 (2) 葛飾北斎 (3) 菱川師宣

【】外国船の出現と天保の改革

[要点：外国船の出現と異国船打払令]

1792年、ロシアの使節ラクスマンが、漂流民の大黒屋光太夫を連れて蝦夷地の根室に來航して通商を求めたが、幕府は、長崎で交渉すると回答した。1804年、ロシアの使節レザノフが長崎に來たが、幕府は通商を断った。ロシアの接近を警戒した幕府は、近藤重蔵に蝦夷地の調査(1807年)を、間宮林蔵に樺太の調査(1808～09年)を行わせ、蝦夷地を幕府の直接の支配地とした。

1808年には、イギリスの軍艦フェートン号が当時敵国であったオランダ船を追って長崎に侵入する事件が起こった。その後もイギリス船やアメリカ船が日本近海に出没し、薪水や食料などを強要することが多くなった。これに対処するため、幕府は1825年に異国船打払令を出した。(いやに剛氣(1825)な打ち払い) 1837年、アメリカの商船を砲撃するというモリソン号事件が起きた。これに対し、蘭学を通じて世界の動きに目を向けていた高野長英や渡辺崋山は異国船打払令の無謀さを説き、幕府を批判し、処罰された。(蛮社の獄) しかし、1840年に起こったアヘン戦争で清がイギリスに敗れ、南京条約という不平等条約を結んだことが伝わると、老中の水野忠邦は異国船打払令をやめ、寄港した外国船にはまきや水をあたえるようにした。



※出題頻度「ロシア○」「ラクスマン○」「レザノフ△」「近藤重蔵△」「間宮林蔵○」

「フェートン号事件△」「イギリス船やアメリカ船△」「異国船打払令◎」「モリソン号事件△」
「渡辺崋山○」「高野長英○」「蛮社の獄○」「アヘン戦争○」「水野忠邦△」

[問題]

次の文章中の①～⑪に適語を入れよ。

1792年、(①) (国名)の使節(②)が、漂流民の大黒屋光太夫を連れて蝦夷地の根室に來航して通商を求めたが、幕府は、長崎で交渉すると回答した。1804年、(①)の使節(③)が長崎に來たが、幕府は通商を断った。(①)の接近を警戒した幕府は、(④)に蝦夷地の調査(1807年)を、(⑤)に樺太の調査(1808～09年)を行わせ、蝦夷地を幕府の直接の支配地とした。

1808年には、イギリスの軍艦(⑥)号が当時敵国であったオランダ船を追って長崎に侵入する事件が起こった。その後もイギリス船やアメリカ船が日本近海に出没し、薪水や食料などを強要することが多くなった。これに対処するため、幕府は1825年に(⑦)令を出した。1837年、アメリカの商船を砲撃するというモリソン号事件が起きた。これに対し、蘭学を通じて世界の動きに目を向けていた(⑧)や渡辺崋山は(⑦)令の無謀さを説き、幕府を批判し、処罰された。((⑨)の獄) しかし、1840年に起こった(⑩)戦争で清がイギリスに敗れ、南京条約という不平等条約を結んだことが伝わると、老中の(⑪)は(⑦)令をやめ、寄港した外国船にはまきや水をあたえるようにした。

[解答欄]

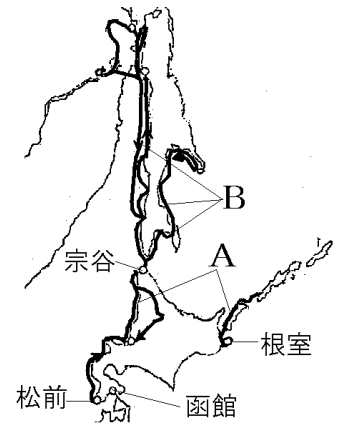
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	

[解答]① ロシア ② ラクスマン ③ レザノフ ④ 近藤重蔵 ⑤ 間宮林蔵
⑥ フェートン ⑦ 異国船打払 ⑧ 高野長英 ⑨ 蛮社 ⑩ アヘン ⑪ 水野忠邦

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 1792年、ある国の使節が根室に来航し、漂流民を送り届けるとともに通商を求めた。①「ある国」とはどこか。②また、この使節の人物名を答えよ。
- (2) (1)①の国を警戒した幕府は蝦夷地や樺太の調査を行わせた。①地図中のAを探検した人物は誰か。②Bを探検した人物は誰か。
- (3) 19世紀前半、日本近海に出没した外国船はどこの国の船であったか。(1)の①の国以外で2か国答えよ。(清とオランダを除く)
- (4) 1825年に外国の船が来航したらこれを追い払えという法令が出されたが、何という法令か。
- (5) (4)が出された後、1837年にアメリカの商船を砲撃するという事件が起きた。この事件を何というか。
- (6) (4)を批判した蘭学者を2人あげよ。
- (7) (6)は幕府の厳しい処罰を受けたが、この事件を何というか。
- (8) 1840年に起きたイギリスと清の戦争で清が敗れると、幕府は(4)をやめ、寄港した外国船にはまきや水をあたえるようにした。①このイギリスと清の戦争を何というか。②この決定を行った幕府の老中は誰か。



[解答欄]

(1)①	②	(2)①	②
(3)	(4)	(5)	
(6)	(7)	(8)①	
②			

[解答](1)① ロシア ② ラクスマン (2)① 近藤重蔵 ② 間宮林蔵
 (3) イギリス, アメリカ (4) 異国船打払令 (5) モリソン号事件 (6) 高野長英, 渡辺崋山
 (7) 蛮社の獄 (8)① アヘン戦争 ② 水野忠邦

[要点：大塩の乱・天保の改革]

1830年代、天保のききんが全国をおおい、百姓一揆と打ちこわしがひんばんに起こった。
 1837年、もと大阪町奉行所の役人で、儒学の中の陽明学の学者であった大塩平八郎は、奉行所の対応に不満を持ち、弟子など300人ほどで大商人をおそい、米や金をききんで苦しむ人々に分けようとした(大塩の乱)。(人はみな(1837)大塩したい打ちこわし) 幕領である大阪で奉行所のもとの役人が反乱を起こしたことは、幕府に大きな衝撃を与えた。

1841年に老中の水野忠邦は天保の改革を始めた(日はよい(1841)改革水野さん)。儉約令を出して、町人の派手な風俗を取りしまり、政治批判や風紀を乱す小説の出版を禁止した。
物価の上昇をおさえるため、営業を独占している株仲間の解散を命じ、また、江戸に出かせぎに来ている農民を故郷の村に帰らせた。さらに、江戸・大阪周辺の農村を幕府の領地にしようとしたが、大名や旗本の反対にあい、改革はわずか2年で失敗に終わった。

※出題頻度「天保のききん△」「大塩平八郎◎」「陽明学△」「奉行所のもとの役人が反乱を起こしたから○」「水野忠邦◎」「天保の改革○」「物価上昇をさえるために株仲間を解散○」「江戸に出てきている農民を村へ帰らせた△」

[問題]

次の文章中の①～⑧に適語を入れよ。

1830年代、(①)のききんが全国をおおい、百姓一揆と打ちこわしがひんばんに起こった。1837年、もと大阪町奉行所の(②)で、儒学の中の陽明学の学者であった(③)は、奉行所の対応に不満を持ち、弟子など300人ほどで大商人をおそい、米や金をききんで苦しむ人々に分けようとした(大塩の乱)。幕領である大阪で奉行所のもとの(②)が反乱を起こしたことは、幕府に大きな衝撃を与えた。

1841年に老中の(④)は(⑤)の改革を始めた。儉約令を出して、町人の派手な風俗を取りしまり、政治批判や風紀を乱す小説の出版を禁止した。物価の(⑥)をおさえるため、営業を独占している(⑦)仲間の(⑧)を命じた。また、江戸に出かせぎに来ている農民を故郷の村に帰らせた。さらに、江戸・大阪周辺の農村を幕府の領地にしようとしたが、大名や旗本の反対にあい、改革はわずか2年で失敗に終わった。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

【解答】① 天保 ② 役人 ③ 大塩平八郎 ④ 水野忠邦 ⑤ 天保 ⑥ 上昇 ⑦ 株
⑧ 解散

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 1830年代におこった大ききんは何か。
- (2) (1)のききんで人々が苦しむ中，奉行所や大商人が貧しい人の救済を行わないことはいきどおり，1837年に大阪で乱を起こしたもと奉行所の役人で儒学者であった人物は誰か。
- (3) (2)は儒学の中でも知行一致を重視する学問の学者であった。何という学問か。
- (4) (2)の乱は1日で鎮圧されたが，幕府は強い衝撃を受けた，その理由を「役人」という語句を使って説明せよ。
- (5) ①19世紀前半に行われた幕府政治の改革は何か。②また，その改革を行ったのは誰か。
- (6) (5)②が行った，①物価を下げるための政策の内容と，②農村を復興させるための政策の内容を，それぞれ簡潔に書け。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)
(4)		
(5)①	②	(6)①
②		

【解答】(1) 天保のききん (2) 大塩平八郎 (3) 陽明学 (4) 奉行所のもとの役人が反乱を起こしたから。(5)① 天保の改革 ② 水野忠邦 (6)① 株仲間を解散させた。
② 江戸に出てきている農民を村へ帰らせた。

【問題】

次は，誰が行った何という改革か。

- (1) 旗本・御家人の借金を帳消しにした。
- (2) 凶作やききんに備え，米をたくわえさせた。
- (3) 株仲間を解散させた。
- (4) 江戸・大阪の周辺の大名家や旗本の領地を幕府の直轄地にしようとした。
- (5) 商工業者の株仲間を奨励した(人物のみ)。
- (6) 新田開発を行い，きめられた率の年貢をとるようにした。
- (7) 公事方御定書という法令集を作り裁判の公正をはかった。
- (8) 長崎貿易で，海産物などの輸出を奨励した。(人物のみ)

- (9) 昌平坂学問所で朱子学以外の学問を禁止した。
 (10) 鉾山や印旛沼など新田の開発をすすめた。(人物のみ)
 (11) わいろがさかんになった。(人物のみ)
 (12) 江戸に目安箱という投書箱をもうけた。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)
(7)	(8)	(9)
(10)	(11)	(12)

[解答](1) 松平定信, 寛政の改革 (2) 松平定信, 寛政の改革 (3) 水野忠邦, 天保の改革
 (4) 水野忠邦, 天保の改革 (5) 田沼意次 (6) 徳川吉宗, 享保の改革
 (7) 徳川吉宗, 享保の改革 (8) 田沼意次 (9) 松平定信, 寛政の改革 (10) 田沼意次
 (11) 田沼意次 (12) 徳川吉宗, 享保の改革

[要点：雄藩の成長]

西日本の諸藩は、財政を立て直すため、独自の改革を行った。薩摩藩(さつまはん鹿児島県)は、奄美群島あまみぐんとうでとれる黒砂糖くろざとうの専売制や、琉球りゅうきゅうを使った幕府の許可を得ない密貿易などで経済力をたくわえた。肥前藩(ひぜんはん佐賀県・長崎県)は陶磁器とうじきを専売制にし、ヨーロッパに輸出した。長州藩(山口県)は、下関などの領内の港で他藩の船に対する金融業を行った。

※出題頻度「薩摩藩△」「長州藩△」「肥前藩△」

[問題]

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

西日本の諸藩は、財政を立て直すため、独自の改革を行った。(①)藩(鹿児島県)は、奄美群島でとれる黒砂糖の専売制や、琉球を使った幕府の許可を得ない密貿易などで経済力をたくわえた。(②)藩(佐賀県・長崎県)は陶磁器を専売制にし、ヨーロッパに輸出した。(③)藩(山口県)は、下関などの領内の港で他藩の船に対する金融業を行った。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 薩摩 ② 肥前 ③ 長州

【】 開国・江戸幕府の滅亡

[要点：ペリーの来航・日米和親条約]

アヘン戦争後に中国進出に乗り出したアメリカは、太平洋をこえてアジアとの貿易を望むようになった。アメリカは、日本を太平洋横断航路の中継地にするため、東インド艦隊司令長官のペリーを派遣した。ペリーは1853年、4隻の軍艦(黒船)を率いて浦賀(現在の神奈川県)に来航し、日本の開国を求めた。(いや御三(1853)家！とペリー来航)



幕府は、翌年の返事を約束してペリーをいったん引きとらせた。幕府は、国内の意見をまとめようと、先例を破って大名の意見を聞き、朝廷にも報告したため、大名や朝廷の発言権が強まるきっかけとなった。

1854年にペリーは、再び江戸湾に来航し、回答をせまった。幕府は、やむなく、日米和親条約を結び、下田(静岡県)と函館(北海道)の2港を開き、燃料・水・食料を補給することと、下田に領事をおくことなどを認めた。



※出題頻度「アメリカのペリー◎」「浦賀(地図)○」「黒船○」「日米和親条約◎」「下田・函館(地図)◎」

[問題]

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

アヘン戦争後に中国進出に乗り出したアメリカは、太平洋をこえてアジアとの貿易を望むようになった。アメリカは、日本を太平洋横断航路の中継地にするため、東インド艦隊司令長官の(①)を派遣した。(①)は1853年、4隻の軍艦((②)船)を率いて(③)(現在の神奈川県)に来航し、日本の開国を求めた。幕府は、翌年の返事を約束してペリーをいったん引きとらせた。幕府は、国内の意見をまとめようと、先例を破って大名の意見を聞き、朝廷にも報告したため、大名や朝廷の発言権が強まるきっかけとなった。

1854年に(①)は、再び江戸湾に来航し、回答をせまった。幕府は、やむなく、(④)条約を結び、(⑤)(静岡県)と(⑥)(北海道)の2港を開き、燃料・水・食料を補給することと、(⑤)に領事をおくことなどを認めた。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥		

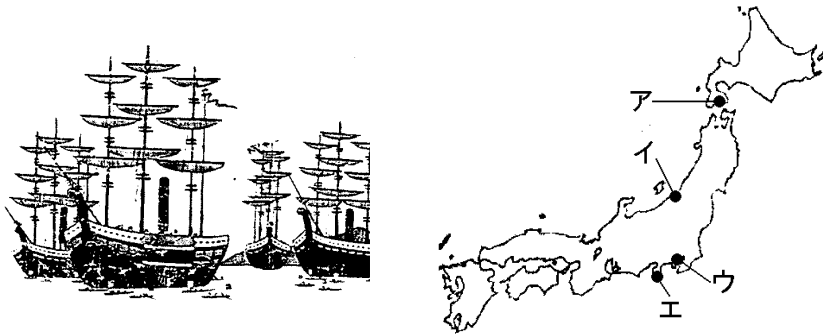
[解答]① ペリー ② 黒 ③ 浦賀 ④ 日米和親 ⑤ 下田 ⑥ 函館

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 1853年に日本に現れた下の図の船に関して次の問いに答えよ。

- ① この船は日本のどこにやってきたか。地名を答えよ。
- ② ①の場所を地図中のア～エから選べ。
- ③ この船はどこの国の船だったか。
- ④ この船を率いて来航した使節はだれか。
- ⑤ この船は、その船体の色から何と呼ばれたか。漢字2字で答えよ。



- (2) (1)の翌年に日本と(1)の③の国との間で結ばれた条約は何か。
- (3) (2)で開港された港はどことどこか。地名と地図の記号を書け。

[解答欄]

(1)①	②	③	④
⑤	(2)	(3)	

[解答](1)① 浦賀 ② ウ ③ アメリカ ④ ペリー ⑤ 黒船 (2) 日米和親条約
 (3) 下田・エ, 函館・ア

[要点：日米修好通商条約]

下田しもだに着任したアメリカ総領事ハリスそうりょうじは、貿易開始のための条約を結ぶことを要求してきた。幕府は朝廷に許可を求めたが、得られなかった。1858年、通商がさけられないと判断した大老たいろうの井伊直弼い いなおすけは、反対派の意見をおさえて、日米修好通商条約にちべいしゅうこうつうしょうじょうやくを結んだ。この条約によって、函館はこだて・新潟にいがた・神奈川かながわ(横浜よこはま)・兵庫ひょうご(神戸こうべ)・長崎ながさきの5港を貿易港として開いた。

しかし、この条約は、日本で罪を犯した外国人をその国の領事が裁く領事裁判権りょうじさいばんけんを認め、輸入品に自由に関税をかける関税自主権かんぜいじしゅけんが日本にないという不平等なものであった。続いて幕府は、オランダ、ロシア、イギリス、フランスとも、同じような条約を結んだが、これを安政の五か国条約あんせいという。



※出題頻度「日米修好通商条約◎」「井伊直弼○」「関税自主権がなかったこと◎」
 「領事裁判権を認めていた◎」「開港した5つの港(地図)○」「安政の五か国条約△」

【問題】

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

下田に着任したアメリカ総領事ハリスは、貿易開始のための条約を結ぶことを要求してきた。幕府は朝廷に許可を求めたが、得られなかった。1858年、通商がされないと判断した大老の(①)は、反対派の意見をおさえ、(②)条約を結んだ。この条約によって、函館・新潟・(③)・兵庫(神戸)・長崎の5港を貿易港として開いた。

しかし、この条約は、日本で罪を犯した外国人をその国の領事が裁く(④)権を認め、輸入品に自由に関税をかける(⑤)権が日本にないという不平等なものであった。続いて幕府は、オランダ、ロシア、イギリス、フランスとも、同じような条約を結んだが、これを(⑥)条約という。

【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥		

【解答】① 井伊直弼 ② 日米修好通商 ③ 神奈川(横浜) ④ 領事裁判 ⑤ 関税自主
 ⑥ 安政の五か国

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 日米和親条約の4年後に日本とアメリカとの間で結ばれた条約は何か。
- (2) (1)の条約が結ばれたのは何年か。
- (3) 反対派の意見をおさえ、朝廷の許可を得ないままに(1)の条約を結んだ大老は誰か。
- (4) (1)の条約で日本が開いた港を、地図中のア～クから5つ選んで記号で答えよ。また、それぞれの港名を書け。
- (5) (1)の条約は、日本にとって不平等な内容が含まれていた。その不平等な点を2つ説明せよ。
- (6) (1)の条約とほぼ同様の条約を、オランダ、ロシア、イギリス、フランスとも結んだが、これらの条約を総称して何というか。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		
(5)		
(6)		

[解答](1) 日米修好通商条約 (2) 1858年 (3) 井伊直弼 (4) ア・函館, イ・新潟, ウ・神奈川(横浜), オ・兵庫(神戸), キ・長崎 (5) 領事裁判権を認めたこと。関税自主権を持たなかったこと。 (6) 安政の五か国条約

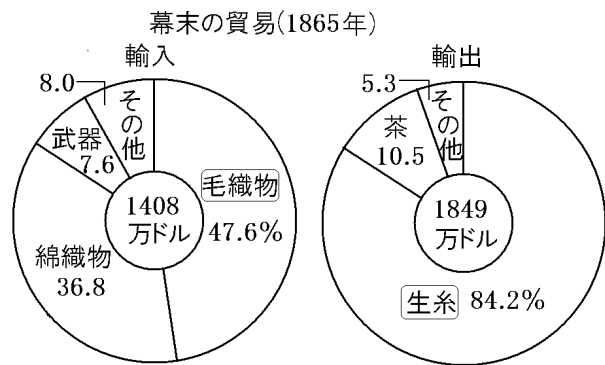
[要点：開国後の貿易]

開国後の貿易で、輸出品の8割以上は生糸きいとで、輸入品は毛織物けおりもの・綿織物めんおりものが大部分であった。最大の貿易港は横浜で、最大の貿易相手国はイギリスであった。日本を開国させたアメリカは南北戦争という内戦が始まったため、貿易額は少なかった。

金と銀の交換比率こうかんひりつが日本と外国で違っていたため、外国商人は日本に銀を持ち込み

金貨を持ち出した。これに対して幕府は小判の質を落としたが、それは国内の物価の上昇をもたらした。最大の輸出品の生糸きいとは貿易商人に買いしめられて国内の生糸が品不足となり、各地の絹織物業が圧迫された。安価で良質な綿織物や綿糸の輸入は国内の生産地に打撃をあたえた。

※出題頻度「生糸○」「生糸の品不足○」「毛織物○」「綿織物△」「綿織物の輸入は日本の生産地に打撃を与えた○」「物価上昇○」「横浜△」「イギリス△」「アメリカ、南北戦争△」



[問題]

次の文章中の①～⑧に適語を入れよ。

開国後の貿易で、輸出品の8割以上は(①)で、輸入品は(②)・綿織物が大部分であった。最大の貿易港は(③)で、最大の貿易相手国は(④)であった。日本を開国させたアメリカは(⑤)という内戦が始まったため、貿易額は少なかった。金と銀の交換比率が日本と外国で違っていたため、外国商人は日本に銀を持ち込み金貨を持ち出した。これに対して幕府は小判の質を落としたが、それは国内の物価の(⑥)をもたらした。最大の輸出品の(①)は貿易商人に買いしめられて国内の(①)が(⑦)となり、各地の絹織物業が圧迫された。安価で良質な(⑧)や綿糸の輸入は国内の生産地に打撃をあたえた。

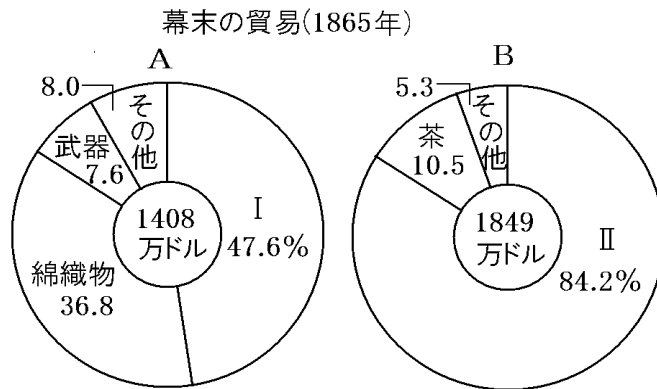
【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

【解答】① 生糸 ② 毛織物 ③ 横浜 ④ イギリス ⑤ 南北戦争 ⑥ 上昇 ⑦ 品不足
⑧ 綿織物

【問題】

次のグラフは、幕末の1865年の日本の主要輸出入品の割合を示している。



- (1) 輸出品を示すグラフは、A、Bのうちのどちらか。記号で答えよ。
- (2) グラフ中のI、IIにあてはまる貿易品を、次の[]から1つずつ選べ。
[米 毛織物 生糸 絹織物 陶磁器]
- (3) 当時の日本の最大の貿易港はどこか。
- (4) 当時の最大の貿易相手国はどこか。
- (5) この当時、日本と最初に条約を結んだアメリカとの貿易額は非常に少ないが、これはアメリカ国内で何という戦争が起こっていたためか。
- (6) 外国商人は日本に銀を持ち込み金貨を持ち出した。これに対して幕府は小判の質を落としたが、そのことは経済にどのような影響をあたえたか。
- (7) 各地の絹織物業が圧迫されたのは何が大量に輸出されたためか。
- (8) イギリスから綿織物が安く大量に輸入されたが、このことは、当時の日本にどのような影響を与えたか。

【解答欄】

(1)	(2) I	II	(3)
(4)	(5)	(6)	
(7)	(8)		

【解答】(1) B (2) I 毛織物 II 生糸 (3) 横浜 (4) イギリス (5) 南北戦争
(6) 物価が上昇した。 (7) 生糸 (8) 国内の生産地に打撃を与えた。

[要点：尊王攘夷運動と安政の大獄]

幕府の大老の井伊直弼が朝廷の許可なく日米修好通商条約を結んだことから、天皇を尊ぶ尊王論と外国の勢力を排除しようとする攘夷論が結びつき、尊王攘夷運動に発展していった。これに対し、井伊直弼は、幕府に反対していた大名や武士、公家を弾圧した。これを安政の大獄という。これによって、長州藩の吉田松陰などが処刑された。しかし、かえって反発は強まり、1860年、江戸城桜田門外で、井伊直弼は水戸藩の浪士によって暗殺された。(桜田門外の変) 井伊直弼の死によって、尊王攘夷運動は勢いを得ていった。また、幕府は朝廷との融和を図る公武合体策を進めた。

※出題頻度「尊王攘夷運動◎」「井伊直弼◎」「安政の大獄○」「吉田松陰△」「桜田門外の変○」「公武合体△」

[問題]

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

幕府の大老の(①)が朝廷の許可なく日米修好通商条約を結んだことから、天皇を尊ぶ尊王論と外国の勢力を排除しようとする攘夷論が結びつき、(②)運動に発展していった。これに対し、(①)は、幕府に反対していた大名や武士、公家を弾圧した。これを(③)という。これによって、長州藩の(④)などが処刑された。しかし、かえって反発は強まり、1860年、江戸城(⑤)外で、(①)は水戸藩の浪士によって暗殺された。((⑤)外の変) (①)の死によって、(②)運動は勢いを得ていった。また、幕府は朝廷との融和を図る(⑥)策を進めた。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥		

[解答]① 井伊直弼 ② 尊王攘夷 ③ 安政の大獄 ④ 吉田松陰 ⑤ 桜田門 ⑥ 公武合体

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 天皇を尊ぶ考えと外国人を打ち払えという主張が結びついて起こった運動を何というか。
- (2) 幕府は(1)の運動を厳しくとりしまり、幕府に反対する大名や武士や公家を弾圧した。
 - ①この弾圧を行った幕府の大老は誰か。②この弾圧を何というか。
- (3) (2)の弾圧によって処刑された長州出身の人物は誰か。
- (4) (2)①の大老は水戸の浪士たちによって暗殺されたが、その事件を何というか。
- (5) 混乱した日本を立て直し、朝廷の力を借りて幕府勢力を維持しようとする考え方を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)①	②	(3)
(4)	(5)		

[解答](1) 尊皇攘夷運動 (2)① 井伊直弼 ② 安政の大獄 (3) 吉田松陰

(4) 桜田門外の変 (5) 公武合体論

[要点：攘夷の実行・薩長同盟]

1863年、幕府は、朝廷や大名の主張に動かされて、攘夷の命令を全国に出した。これを受けて長州藩は1863年、下関海峡を通る外国船に砲撃をくわえた。しかし、翌年、イギリス・フランス・アメリカ・オランダからなる4国の艦隊に攻撃され、下関砲台を占領された。薩摩藩も、1862



年、イギリス商人を殺害する生麦事件を起こしたため、翌1863年にイギリス艦隊に鹿児島を砲撃され、大きな損害を受けた(薩英戦争)。これによって、長州藩と薩摩藩は、外国の軍事力の強大さを思い知り、攘夷が不可能であることをさとった。そして、この強力な欧米列強の植民地になることをまぬかれ、独立を保っていくためには、幕府を倒して

強い統一国家を作るしかないという結論に達した。1866年に、土佐藩出身の坂本龍馬らの仲立ちで、長州藩と薩摩藩は薩長同盟を結び、薩摩藩の西郷隆盛と大久保利通、長州藩の木戸孝允(この当時は桂小五郎)を中心に、倒幕へとむかっていった。



(坂本龍馬)

※出題頻度「長州藩：外国船を砲撃→下関砲台を占領された○」「薩摩藩：生麦事件→薩英戦争○」「薩長同盟◎」「坂本龍馬◎」「薩摩藩の西郷隆盛△」「長州藩の木戸孝允△」

[問題]

次の文章中の①～⑧に適語を入れよ。

1863年、幕府は、朝廷や大名の主張に動かされて、攘夷の命令を全国に出した。これを受けて(①)藩は1863年、下関海峡を通る外国船に砲撃をくわえた。しかし、翌年、イギリス・フランス・アメリカ・オランダからなる4国の艦隊に攻撃され、下関砲台を占領された。(②)藩も、1862年、イギリス商人を殺害する(③)事件を起こしたため、翌1863年にイギリス艦隊に鹿児島を砲撃され、大きな損害を受けた((④)戦争)。これによって、(①)藩と(②)藩は、外国の軍事力の強大さを思い知り、攘夷が不可能であることをさとった。そして、この強力な欧米列強の植民地になることをまぬかれ、独立を保っていくためには、幕府を倒して強い統一国家を作るしかないという結論に達した。1866年に、土佐藩出身の(⑤)らの仲立ちで、(①)藩と(②)藩は(⑥)同盟を結び、(②)藩の(⑦)と大久保利通、(①)藩の(⑧)(この当時は桂小五郎)を中心に、倒幕へとむかっていった。

【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

【解答】① 長州 ② 薩摩 ③ 生麦 ④ 薩英 ⑤ 坂本龍馬 ⑥ 薩長 ⑦ 西郷隆盛
⑧ 木戸孝允

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 1862年にイギリス商人を殺害する生麦事件をおこした藩はどこか。
- (2) (1)の事件をおこした藩に対してイギリスはどのような報復を行ったか。
- (3) ①1863年、攘夷を実行し、外国船に砲撃を加えた藩はどこか。②また、その報復として翌年、四国連合艦隊は何という都市を攻撃し砲台を占領したか。
- (4) 尊王攘夷運動が高まる中、幕府を倒す中心となった藩を2つ答えよ。
- (5) (3)の2つの藩が同盟を結ぶ仲立ちをした、右図の土佐藩出身の人物の名前を答えよ。
- (6) (5)の同盟を何というか。



【解答欄】

(1)	(2)	(3)①
②	(4)	(5)
		(6)

【解答】(1) 薩摩藩 (2) 艦隊が鹿児島を砲撃した。 (3)① 長州藩 ② 下関
(4) 薩摩藩、長州藩 (5) 坂本龍馬 (6) 薩長同盟

【要点：江戸幕府の滅亡】

1867年、右図のように「ええじゃないか」といって人々が熱狂するさわぎが各地で流行したころ、薩摩藩と長州藩が武力で幕府を倒す計画を進めていたが、第15代将軍の徳川慶喜は、京都の二条城で、政権を朝廷に返すことを伝えた。これを大政奉還という。慶喜は、天皇のもとに大名の会議を作り、自分は議長として政治の実権を持ち続けようと考えていた。



これに対し、朝廷は王政復古の**大号令**を発表して新政府の成立を宣言し、幕府の領地を取り上げ、天皇が直接政治を行うことを決めた。これを不満とした旧幕府軍は、1868年1月、新政府軍と戦争を起こしたが、京都近郊の鳥羽・伏見の戦いで敗れた。新政府は、軍を東にすすめ、江戸城を明け渡させた(新政府軍の西郷隆盛と旧幕府の勝海舟の会談で決まった)。ついで、会津若松など東北地方で戦い、最後に北海道函館の五稜郭にたてこもった幕府軍を打ち破った。鳥羽・伏見から函館にいたるこの戦いを**戊辰戦争**という。

※出題頻度「ええじゃないか○」「大政奉還◎」「徳川慶喜◎」「王政復古の号令○」
 「鳥羽・伏見の戦い△」「函館の五稜郭△」「戊辰戦争◎」

【問題】

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ。

1867年、「(①)ないか」といって人々が熱狂するさわぎが各地で流行したころ、薩摩藩と長州藩が武力で幕府を倒す計画を進めていたが、第15代将軍の(②)は、京都の二条城で、政権を朝廷に返すことを伝えた。これを(③)という。(②)は、天皇のもとに大名の会議を作り、自分は議長として政治の実権を持ち続けようと考えていた。これに対し、朝廷は(④)の号令を発表して新政府の成立を宣言し、幕府の領地を取り上げ、天皇が直接政治を行うことを決めた。

これを不満とした旧幕府軍は、1868年1月、新政府軍と戦争を起したが、京都近郊の(⑤)の戦いで敗れた。新政府は、軍を東にすすめ、江戸城を明け渡させた(新政府軍の西郷隆盛と旧幕府の勝海舟の会談で決まった)。ついで、会津若松など東北地方で戦い、最後に北海道函館の(⑥)にたてこもった幕府軍を打ち破った。(⑤)から函館にいたるこの戦いを(⑦)戦争という。

【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

【解答】① ええじゃ ② 徳川慶喜 ③ 大政奉還 ④ 王政復古 ⑤ 鳥羽・伏見 ⑥ 五稜郭 ⑦ 戊辰

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 1867年、幕府は、朝廷に政権を返すことを申し出た。このことを何というか。
- (2) (1)を行った将軍は誰か。
- (3) (1)に対し、西郷隆盛や岩倉具視らは、朝廷を動かして、天皇の政治にもどすことを宣言した。このことを何というか。
- (4) (1)のころ、各地で右の資料のようなさわぎが流行した。これを何というか。
- (5) 旧幕府軍と新政府軍との戦いを何というか。
- (6) (5)が始まった場所はどこか。
- (7) 旧幕府軍は最後にどこで降伏したのか。①その地名を答えよ。
 ②また、幕府軍が立てこもった城郭は何か。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)
(7)①	②	

[解答](1) 大政奉還 (2) 徳川慶喜 (3) 王政復古の号令 (4) ええじゃないか
(5) 戊辰戦争 (6) 鳥羽・伏見 (7)① 函館 ② 五稜郭

【FdText 製品版のご案内】

※ このファイルは、FdText 社会(9,600 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdText 理科は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※ FdText(理科・社会・数学)全分野の PDF ファイル、および製品版の購入方法は <http://www.fdtype.com/txt/> に掲載しております。

弊社は、FdText のほかに、

FdData 中間期末過去問(数学・理科・社会)(各 18,900 円) <http://www.fdtype.com/dat/>

FdData 入試過去問(数学・理科・社会)(各 16,200 円) <http://www.fdtype.com/dan/>

を販売しております。

【Fd 教材開発】 (092) 811-0960